令和４年度

八尾市市民活動支援ネットワークセンター
運営に係る業務報告書

＜資料編＞

特定非営利活動法人やお市民活動ネットワーク

(1)中間支援業務

①情報収集・情報提供業務

【ア】　多様な主体による社会貢献活動に関する情報収集

○　山本コミセンラウンドテーブル(全て山本コミュニティセンターにて開催)開催時の情報収集

No.	日付	収集内容
1	4 月 21 日	○　各地域の要支援者の方への支援について ・　民生委員に社会福祉協議会から各地域の要支援者名簿の配布と記載内容の確認依頼があった。 ・　ラウンドテーブルの参加者で名簿を閲覧した方の率直な感想として、要支援者の多さに驚き、今後の活動を考えていく際に焦点をあてて考えていく課題であるとのこと。 ・　北山本は要支援者への具体的な取り組みとして「救出班」という約 30 人の若年層で形成された組織があり、主に災害時支援として設置。 ○　わがまち推進計画の作成にあたって ・　今年度わがまち推進計画を作成していく上で、よりコンパクトかつ地域の課題解決に基いたものを考えていきたい。 ・　そのための取り組みとして、「やお地域まちづくりアドバイザー」を各会議の場にお呼びして意見交流やアドバイスを頂けるような機会を設けるのはどうかという意見があった。 (八尾市が行っている「やお地域まちづくりアドバイザー」の派遣制度は、予め山本小学校区まちづくり協議会に情報提供していたため、この様な意見が出た。)
2	6 月 17 日	○　幼稚園の跡地について ・　まち協が主体となって芝生を植えて子どもたちが遊びやすい環境づくりを実施する校区や知らぬ間にアスファルトになることが決まっていた校区等、地域によって様々な現状が分かった。 ・　他の校区まち協でも公民館(集会所)の様に活用したり、「つどいの広場」や「はとぽっぽ」の様な子ども達向けの団体が使えるようにまち協が仲介したり等アイデアが出た。 ○　6/25「やお地域まちづくりアドバイザー」をお呼びして聞きたいこと ・　上記から、地域活動団体と学校園等との円滑な協働方法について ・　まち協内の人材育成を目的とした人への投資の方法、手順について ○　各地域の近況報告から ・　高安西まち協：6 月 19 日に意見を幅広く言いやすくすることを目的に置いたまちづくりワークショップを開催予定。 ・　西山本まち協：市民スポーツ祭を例年より時間を短縮して、午前中に開催予定。 ・　北山本まち協：子ども会を立ち上げる動きが始まった。

No.	日付	収集内容
3	8 月 26 日	○　東山本まち協ラウンドテーブルについて ・　まち協の活動以外でも、大小関わらず校区内で活動している団体同士が情報共有しあえるような場所をまち協からつくる。情報共有と発信のお手伝いを行う意識を持って実施している。 ・　上記内容は山本コミセンラウンドテーブルに初参加で、東山本まち協ラウンドテーブルについてもご存じなかった方にご説明されていた。 ○　南山本まち協の近況報告(南山本通信から情報提供) ・　ファシリテーター養成講座のご案内と不審者警戒情報を同じチラシの上部と下部に分けて自治振の回覧板で情報発信を行った。 ・　チラシを見て参加された方が多く、全体の参加者も想定よりも集まっていただけた。 ・　以前実施したアンケートでも地域の方が情報を得ているツールとして一番多いのが回覧板という結果が出ており、南山本ではアナログ(回覧板等)での情報発信の継続とより若年層の意見を収集できるような取り組みや情報発信の方法を模索していきたいとのこと。 ○　8 月 25 日開催「令和 4 年度　校区まちづくり協議会連絡会」の内容 ・　オンラインとの併用開催で実施され、初めの「やお地域まちづくりアドバイザーからのメッセージ」では「つどい」を頼っていくことを提案する様な発言が多くあったことを参加されていた方からお聞きした。 ○　上之島まち協防災リーダーの方の取り組みについて ・　現在、上之島まち協では防災マニュアルを作成していこうという動きがある。防災リーダー養成講座に参加して自地域でも必要だと感じたことから自分から作成しようと考え、上之島まち協の会長である安木氏に提案されて始められた。 ・　作成していく中での困りごとは、まち協単位で作成しているため小学校区のものしか作成出来ず、校区が被っている中学校区分の作成がまち協単位では難しいという事。 ・　寝屋川市では数年前に同様の課題が発生したが、中学校区ごとで実行委員を発足し行政が作成したテンプレートを基に作成されている事例もある。八尾市危機管理課にその事例を元に提案をしたが反応は未だ無く、どの様にアプローチするべきなのかが課題だと考えておられた。 ○　本ラウンドテーブルについて(高安西まち協の方からのご意見) ・　今年度から参加して、本当に貴重な話を聞けてとてもいい勉強の機会を頂いている。 ・　他の方にも是非参加してほしいと考えているが、開催日時が平日の午前中という事からお誘いしたい子育て世代の参加が難しいので、開催日時の検討を行いたいというご意見があり、これに対して参加者全員で次回のラウンドテーブルで前向きに検討する事になった。

No.	日付	収集内容
4	10 月 21 日	○　災害時の避難所開設について(東山本小校区より情報提供) ・　前回の台風接近時に避難所が開設されていたことをネットで調べて知り、初めて現場に足を運び、開設員の方に名刺をお渡しした。 ・　まち協目線では開設していることを調べないと分からなかったことと、開設員の方も開設先の学校長にしか共有していないことに疑問があったことが分かった。今後はどの地域も開設員の方からの開設した際の連絡先としてまち協の会長にも連絡すべきだと感じた。 ○　東山本小まち協ラウンドテーブルについて ・　「つどい」に事前に相談に行き、Zoom を用いた併用開催を実施。計 4 名の方が参加されて今後も継続して実施していくことになった。 ○　特定非営利活動法人八尾市観光ボランティアガイドの会の活動について ・　東山本小まち協会長が個人で関わられている「特定非営利活動法人八尾市観光ボランティアガイドの会」の取り組み案に、まち協の方にも協力を仰ぎたいと考えておられた。 ・　「わがまちルック(案段階の名称であり正式名称不明)」: 八尾市内に点在する文化財の存在を知らぬまま道路や住宅の補修工事等によって捨てられてしまっている現状がある。各校区に知っている人、守っていく人を増やして自分の校区の文化財を自分たちで守っていけるようなマップ作成や取り組みを検討中。 ・　西山本小まち協から、自校区でもつい先日に道標が道路補修工事で壊されていることに気が付いた。是非協力したい。とご意見があった。 ○　高安西小まち協敬老祝賀会の開催方法について ・　高安西小学校のグラウンドで敬老祝賀会を実施した。 ・　新型コロナウイルス感染拡大防止のために、屋外で記念品の手渡しを町会長の協力のもと町会ごとに実施。 ・　現地には、曙川中学校演劇部によるミュージカルや保健士の方の健康診断ブース等を設けていた。 ・　また、防災への取り組みとして案内状に避難経路のマップを掲載し、実際に避難経路を歩いてきていただく取り組みも行われた。 ○　3 地区(山本・南山本・西山本)合同無事旗掲揚災害時訓練について ・　11 月 27 日に同じ時間でそれぞれの校区で開催する予定。 ・　どの校区もチラシを全戸配布し、口コミで広げてもらいながら周知を行っていく予定とのこと。

No.	日付	収集内容
5	12 月 16 日	○　東山本小まち協で行われた小学生への意見収集の機会作りについて ・　東山本小まち協では、わがまち推進計画策定にあたり子どもたち向けのまちづくりの取り組みを考える上で、当事者である子どもでないと本当に必要な取り組みはわからないと考えて実施された。 ・　手法としては東山本小学校児童会の生徒向けにワークショップ型のインタビューを行い、高齢者であるまち協会長が実施するのではなく、「つどい」に仲介をしてもらうことで子ども達の緊張をほぐした状態で意見収集を行うことが出来た。 ・　東山本小まち協の事例紹介後、上之島小まち協では 6 年生向けにアンケートを実施したことや山本小まち協の旧山本幼稚園跡で行われている芝生事業についての事例紹介があった。 ○　上之島小まち協での防災リーダーの方の取り組みについて(8 月のラウンドテーブル以降の現状報告) ・　現在は小学校の避難所開設運営マニュアルを作成している段階で、まずは小学校版を完成させてから中学校版も作成していく予定。 ・　新型コロナウイルスの蔓延から感染症予防の観点も取り入れた避難所開設が必要とされている現状がある。 ・　完璧なものを作成しようとするとハードルが上がってしまうので、たたき台を作成し不足を補う様な進め方が望ましいと考えるとのこと。 ○　各まち協で実施しているまち協からの情報発信について ・　東山本小まち協：11 月から 12 月にかけて地域住民に向けたアンケート調査を実施。アンケート結果の報告時に、本アンケートは行政からの依頼で行われてた受け身のものではなく、地域が地域のために作成し実施しているものである。より積極的な協力を求めていることを会長から役員の皆様にお伝えしたとのこと。また、イベントや会議の誘いかけは地域のラジオ体操に出向いて直接行っているとのこと。 ・　上之島小まち協：ブログと web サイトを継続的に更新する習慣が出来てきており、掲示板コーナーをほぼ毎週更新している。高齢者の方への電子化のお願いは課題ではあるが、高齢者の「できない」は「やってみる気が出ない」が大半であり、孫や子どもにやってみてほしいと伝えてもらうことで利用者を段々と増やせていくことが出来ているとのこと。 ○　高安西小まち協の今後の予定 ・　わがまち推進計画の方向性が確定してきた段階でより具体的な活動を考えていくためにワークショップを計画している。 ・　1/15 開催予定でテーマは「健康につながる身近な地域活動とは」なにか。 ○　本ラウンドテーブルについて ・　ラウンドテーブルで話した内容の共有や他の方にも参加していただくために、議事録(東山本ラウンドテーブルの議事録の様なもの)を作成するのはどうかという提案があった。 ・　つどいが 12 月のラウンドテーブルの内容でたたき台を作成してみることになった。
6	2 月 17 日	○　避難所開設マニュアル作成の提案 ・　上之島小学校区まちづくり協議会で作成されていた「避難所開設マニュアル」が完成した。汎用性を高く作られているので他のまち協でも雛型として活用してほしいと提案。 ・　参加されていた全まち協が賛同されて、来年度以降作成を実施していく提案をされるとのこと。高安西小まち協からはラウンドテーブルで説明用に使用されていたパワーポイントを用いた講座形式でレクチャーを依頼されていた。

○　つどい井戸端会議(全て Zoom にて開催)開催時の情報収集

No.	日付	収集内容
1	4 月 15 日	○　初参加者、数年ぶりの参加者から自己紹介・近況報告 ・　放課後等デイサービスを昨年より始めて約 1 年になる。子どもと大人の切れ目のない支援をしたいという社長の思いでスタートした。 ・　ドッジボールクラブを 22 年している。旧中高安小学校や旧北高安小学校の体育館が活動場所である。 ○　話題①：東北の復興状況について ・　東日本大震災後、どこまで復興が進んでいるのか、現地の方に聴きたくて、宮城県東松島市に赴いている。環境省が整備を行った道「みちのく潮風トレイル」を徒歩で青森県八戸市まで期間を分けて、歩いて行く予定である。集落ごと移転している地区もあり、中々、人と出会う事が少ない。 ・　東松島市の旅館(民宿？)に泊まっているが、離島の内、4 島は人が住んでいるが、震災後、「野々島」は 3 分 2 の住民が移住された。東日本大震災後 11 年経つが、未だに復興はしていない。現地の情報がマスメディアから我々に入って来ないと、現地を赴けば赴く程に強く感じる。 ○　話題②：同級生との再会 ・　参加者同士で、中学校が同じ学び舎で同学年である事がわかった。親御さんのお店が青山通り沿いに営まれていたお話もあった。 ○　話題③：ドッジボールと子育てとの関係 ・　ドッジボールは、(一社)日本ドッジボール協会が日本のドッジボールを統括しており、自分で考えて行動するために、そして社会に出た時に通用するように、ルールを考案されたと聴いている。例えば、ボールをキャッチして 5 秒以上ボールを持ったままではいけないルールがある。これは、自分で考えて行動する一環である。 ・　チーム内でボールを渡すことを不可とし、チームメイトに任せるのではなく、自分で考えて行動するためである。作詞家の森浩美氏(上記一般社団法人の副会長)が、ドッチボールで子どもたちを育てる事をコンセプトにルールに盛り込まれている。 ○　話題④：活動を通じて感じる子育てと親 ・　ドッジボールで親御さんから子どもたちを預かって、ドッジボールを通じて、例えば挨拶など人としてのモラルも教えている。一昔前は、親はドッジボールの監督に任せていたが、今の親達は、監督が子どもたちに教えている中、口をだされる親も増えてきている。 ・　若者たち・子どもたちの発言・態度・行動が目立ち悪くも言われるが、これはひとつの社会現象であって、決して若者たちや子どもたちがその原因ではない(社会現象をリトマス紙のように見てあげる)。 ・　その子どもたち・若者たちを育てた親や時代背景が、ひとつの原因ではないか。お金や物の豊かさに偏ってしまって、道徳や命の大切さを伝えきれていなかったのではないか。 ・　宮台真司氏によると、このような社会現象を「社会の空洞化」と呼んでいる。その原因のひとつとして、子どもたちから見た上の存在(親)とは異なり、近所のおっちゃん・おばちゃんといった「斜め上の存在」が、子どもたちの身近にいなくなったからであると言われている。 ・　中年層が子どもの頃は「斜め上の存在」がおり、近所のおっちゃん・おばちゃんから、可愛がられたり、都合の悪いことを言われたり、怒られたり(叱られたり)と大なり小なり経験をしている。 ・　中年層の役割として「斜め上の存在」になって、人として道徳や命の大切さを、若者達や子どもたちに愛の心で伝えて行くことだと思う。

No.	日付	収集内容
2	5 月 20 日	○　初参加者の自己紹介 ・　開催途中から参加する方が多かったため、結果 4 回に渡り、初参加者に自己紹介をしていただいた。 ・　4 回に渡って自己紹介をしていただいたことが面白い事から、和やかな雰囲気で自己紹介タイムが出来た。 ・　各々が自己紹介をされた(昔、山本小学校の 2 階から大阪城が見えた話、大学進学で上阪して 18 年になり人生の半分が大阪住まい、結婚して 26 年目等)。 ・　自己紹介の中で、環山楼(かんざんろう)の話題が出た。 ※　環山楼は、江戸時代中期に八尾寺内町の豪商であった石田善右衛門利清が設けた私塾。当時は学芸教育が盛んで、大阪の懐徳堂(かいとくどう)をはじめとする学塾が数多く開かれていた。「環山楼」の名前は、当地に招かれて講義を行った京都堀川の儒学者伊藤東涯(いとうとうがい)が、高安・二上・金剛の山々の景観に取り囲まれている様子から命名したもの。出典：インターネット「八尾市ホームページ」 ○　防災について(幼児に必要な防災装備・備蓄など) ・　「美園小学校区まちづくり協議会」が 6 月 5 日に小学校の日曜参観と併合して、防災訓練を実施する。 ・　災害時に備えて幼児には何を準備しておかないといけないのかが、わからない。 ・　災害時の幼児の装備や備蓄としては「公園に行く時に必ず持っていくもの」「健診で言われているもの」を準備するのがポイント。 ・　月齢で必要なものが変わるので(幼児の成長が早いので)、普段使いのものも備えておくと便利。 ・　ペットシートは使える。また哺乳瓶に入ったミルクを温めるのに、カイロを使って温めることが出来る。 ○　災害前に楽しみながら実験や体験をしてみる事 ・　家でアルファ化米に水を少量だけ入れて、団子状にしてお菓子にして見た。 ・　カップラーメンの汁を残して、ご飯をいれておじやにしてみたり。 ・　災害時に備えて、日常生活で調理実験をしてみる。 ・　試しにやってみて「うまくいかんなぁ～。」と言うて「アハハ～。」で済むように、日常生活で先にやってみることが大切。 ・　事前にやってみることで、災害時に少しでも慌てないようになれば良い。 ○　高美小学校区まちづくり協議会でも防災リーダーがおられる話 ・　「美園小学校区まちづくり協議会」以外でも防災リーダーがおられる。またつながって、色々と防災についてお話がしたい。 ○　参加者の近況報告 ・　「つどい井戸場会議」で参加者と知り合いになり、活動先に訪問した。 ・　高安ドッチボールクラブに訪問し、明日も役割をいただいたので、お手伝いに参加する。 ・　吉野の金峯山寺(きんぷうせんじ)に東京から「YMCA」の方、東大の女子大生が来られた。 ・　これを機会に、コロンビア大学の方とも知り合いになった。 ・　その方が 30 年前の吉野の写真をお持ちなので、当時の写真と比較するため、現地まで撮影に来られた。 ・　作家の研究をされておられ、世界で日本だけが 1000 年以上前(平安時代)から女流作家が輩出されている国は世界でも日本だけだと言っておられた。 ・　当時、天皇に気に入れられるため、男女関係なく文章を書いて才能を開花する機会があったのではないかと推察されておられる。 ・　孫 2 才がかわいいという話は何時間でも話せると発言があった。「もう時間なので終わります。」と返すと笑いが起こり温かい雰囲気で Zoom が終了した。

No.	日付	収集内容
3	6 月 17 日	○　国際交流センター開設 30 周年記念事業について ・　過去の記念事業としては、バーベキュー、ダンス披露、立食形式などで開催をして来た。300 名程度のご参加をいただいた。 ・　開催時期は今年 10 月に開催を予定している。何を目的に開催すれば良いか、企画アイデアがほしい。 ・　企画として映画「森のムラブリ　インドシナ最後の狩猟民」を上映するのはどうか。 ・　映画見たことがあり、彼らは所有する概念がない。所有する事が、苦しみや揉め事の基になっていないかというメッセージが伝わる。 ・　また、所有しない共有が当たり前の考え方・生活スタイルである。 ※　出典(映画の解説紹介ページ)：インターネット「映画.com」 https://eiga.com/movie/96412/ ・　コロナ前まで開催していた「野遊祭」を思い出した。 ○　「前回、初参加者から再度、自己紹介」から展開① ・　参加者が携わっていた「NPO 法人ニッポンバラタナゴ高安研究会」で保護している「ニッポンバラタナゴ(地元名：キンタイ)」の話になり、知らない方へ向けて主催者に説明のリクエストをもらい特徴や魅力等をご説明した。また皇室とニッポンバラタナゴの関係性(40 年近く前の話題)も提供した。 ・　カップラーメンの汁を残して、ご飯をいれておじやにしてみたり。 ・　災害時に備えて、日常生活で調理実験をしてみる。 ・　試しにやってみて「うまくいかんなぁ～。」と言うて「アハハ～。」で済むように、日常生活で先にやってみることが大切。 ・　事前にやってみることで、災害時に少しでも慌てないようになれば良い。 ○　教員不足と外国人及び外国にルーツのある方について ・　参加者が途中で退席され、他の会議で学校の教員不足について国会議員の方々と話合いに参加するとのことだった。 ・　八尾市内でも外国人及び外国にルーツがある方が、ベトナム人系で 8,000 人お住まいだと聞いた事がある。 ・　八尾市が議会で承認されれば、八尾市民約 26.2 万人に物価高高騰による一律 5,000 円の給付金の支給がされるそうだが、外国人及び外国にルーツのある方で八尾市内にお住いの方が給付金の対象になるのだろうか。 ・　2 年前の 4 月に支給された「特別定額給付金」の「よくある質問」のホームページに「外国人は給付対象者ですか。」と言う質問があったので、主催者から回答について口頭で読み上げた。 ※　出典：インターネット「総務省　特別定額給付金　よくある質問」 https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/gyoumukanri_sonota/covid-19/faq.html ○　「前回、初参加者から再度、自己紹介」から展開② ・　先ほどと同じ参加者は、史跡巡りをよくされているので、「八尾市内でおススメの史跡はどこですか。」という質問に対して「高安城倉庫跡礎石群」を挙げられた。 ・　「高安城倉庫跡礎石群」は 667 年に天智天皇が高安城を築くと日本書紀に記載されており、大正時代に調べたそうだが発見されなかった。 ・　1976(昭和 51)年に山本コミセン・山本図書館の場所にあった「労働会館」で開催された「第 10 回郷土史講座」の最終座談会で受講していた 5 名が「高安城を探してみよう！」と言い、2 年後の 1978(昭和 53)年に高安城の礎石を探し当てた。 ・　当時は新聞やテレビでも話題になった。 ・　4 年後の 1982(昭和 57)年に、高安城の礎石として発見されたが調査により、高安城の倉庫跡であることが分かった。 ・　礎石の下を掘り起こすと土器が見つかり、この土器は平城京の長屋王邸跡出土の土器と同年代(720～730 年代)であると認定された。そのことから 730 年代までに高安城倉庫を建てられたと推測された。 ・　当時探し当てるまでの 2 年間、高安山山頂で地面に向かって鉄の棒でたたきながら探しておられたと聞く。地面に鉄の棒でたたいた時に何か固いものがあることを感じ、地面をさらって礎石を発見したそうだ。 ・　この活動が「高安城を探る会(つどい登録団体)」として結成され、現在も 2 ヵ月に 1 度、高安山を山歩きし、今日も高安城を探したり、高安城倉庫跡礎石群周辺の草刈りをされておられる。

No.	日付	収集内容
4	7 月 15 日	○　初参加者も交えて自己紹介 ・　途中参加・途中退室のため、入れ替わりはありながら合計 14 名の参加があった。 ・　「子育て支援井戸端会議」の立上げ時に参加されていた方が、数年振りに参加された。 ・　経理関係のお仕事をしている。 ・　行政でも非常勤をしており、子どもたちにお金のリテラシーを教えている。また「ハミール」という八尾児童合唱団の卒園生で結成され、7 月 30 日のプリズムホールリニューアルオープンイベントでコーラスを披露する。 ・　八尾市内で助産師をされている。7 人家族。イトーヨーカドーでの相談対応もしている。 ・　会社を早期退職し、システム開発の会社を経営している。また「ビブリオバトル」と言う書評合戦を 7 月 23 日に茶吉庵で開催する。 ・　ボーイスカウトに携わっており、9 月 15～17 日までアリオ八尾で展示会など催しを開催する。 ・　大東市で放課後等デイサービスを立上げ、ダンスに特化した取り組みを行っている。 ・　上記の放課後等デイサービスに先日、ボランティアで参加し、子ども達が懐いてくれた。 ・　ボランティアで歴史散策のまち歩きに携わっている。 ・　8 月 7,8 日に「みせるばやお」でグラフィックレコーディングの催しがある。 ○　話題①：防災・フードピクト ・　災害時や学校給食時などに食物アレルギーがわかる表示物(ピクトグラム)がある。 出典：インターネット「導入事例　フードピクト」(株式会社フードピクト)https://www.foodpict.com/example ・　国際交流センターさんにも情報提供して、PR や働きかけが出来たらと思う。 ○　話題②：八尾市の産後ケア事業 ・　出産後に退院してから、お母さんと赤ちゃんがお泊りできるケア事業がある。 ・　6 泊 7 日で大阪市内・東大阪市内なども宿泊先がある。 ・　このケア事業を活用するにも、自動車がなくて宿泊先までアクセスできない場合は、八尾市内ならデイケアから利用できる。 ・　助産師としてこのケア事業に携わっており、「おっぱいケア」なども行っている。 出典：インターネット「産後ケア事業のご案内」(八尾市) https://www.city.yao.osaka.jp/0000042110.html ・　産後 2 ヵ月は、お母さんは記憶力が低下しやすい。 ・　妊婦健康診査を受診された場合に、その費用の一部を償還払い(助成)している。 出典：インターネット「八尾市妊婦健康診査助成制度のご案内」(八尾市保健センター) https://www.city.yao.osaka.jp/cmsfiles/contents/0000054/54631/annaisyuusei.pdf ○　話題③：町会の集会所の現状 ・　集会所を利用したい方は居てるが、申込・受付対応をしてくれる方がコロナ禍も重なって極端に減っている。 ・　「結ネット」と言う町会運営をアプリで行えるツールがある。集会所運営にも活かせられたらと思う。 出典：インターネット「結ネット(地域 ICT プラットフォームサービス)」(株式会社シーピーユー) https://www.cpu-net.co.jp/product/yui-net/ ・　コロナ禍もあって担い手不足がさらに深刻になって来ており、地域力が落ちてきている。 ・　20 年前大学生だった頃の私達の世代とは大きく異なり、現在の若年層は社会貢献したい人の人数と割合が増えて来ているように感じる。 ・　実感するのは、市民活動を行う若年層は少子化の中でも増えてきているからである。しかし地域活動の担い手は増えない・育っていないと感じている。 ・　土日が休みでも、やる気があれば地域活動や市民活動は出来る。

No.	日付	収集内容
5	8 月 26 日	○　初参加者紹介 ・　コロナ禍になって、まち協の自主防災組織で防災の行事を開催している。子供会の会長をしている。 ・　校区集会所を借りて、夏まつりをしたいという話が湧き、色々と音頭を踊る。 ○　お地蔵さんとは？地蔵盆とは(8 月 23,24 日にちなんで) ・　地蔵菩薩で、仏教では如来・菩薩・明王・天と仏の位があるが、地蔵菩薩は如来の次の位である。 ・　阿弥陀如来の宗派では、極楽浄土へ地蔵菩薩がお連れするとのこと。 ・　流産した子の水子供養。 ・　八尾地蔵は十王信仰で神仏習合により、閻魔王は地蔵菩薩だという説もある。 ・　八尾地蔵は、閻魔王と仲が良く、八尾地蔵の証文(手紙)を亡者が持っていた？ ・　正調河内音頭の「八尾地蔵霊験記」では、八尾地蔵と閻魔王との関係を題材とした物語として唄い継がれている。 　出典：インターネット【常光寺　「地蔵盆踊り」】http://jyokouji.com/event/jizoubon.php ・　阿弥陀如来はひとつの世界を持ち悟っている。地蔵菩薩は、これから悟りを開く方で、如来の所へ連れて行く方。仏教では人間は菩薩。悟りを開こうとしている。 ・　ちなみに観音菩薩は、すべての人を如来の世界・悟りの世界へ連れて行くことを目標にされている。 ○　各参加者からの活動状況 ✧　八尾市国際交流センター設立 32 周年記念 ・　コロナ禍で数年開催が延期。 ・　10 月 23 日に奈良公園へ行く予定。 ✧　子どもの時に八尾北ビオトープ活動に参加していた娘が、LINOAS でバイトをしている。大学生になった。 ✧　アイスターラボ：大東市での児童デイでダンスを取り入れた取組み。 ・　先日訪問して、子ども達がとても懐いてくれた。 ・　訪問者(井戸端会議参加者)が子どもと仲良くなるのがうまく、男の子が男性の大人と仲良くなれないのに、仲良くなったのは驚いた。 ・　発達障害の子どもの中で、言葉よりも文章から認識・吸収する子どもと出会った。 ・　ダンスにエントリーしたら、予選突破し本選に出場する事になった。 ✧　ボーイスカウト写真展・体験会がアリオ八尾で 9 月 15～17 日まで開催。 ✧　以前に心筋梗塞になったことがある。 ○　宮台真司(社会学者)について ・　学生時代、私たち世代の思いを「朝まで生テレビ」等で伝えてくれたので、とても共感している。 ・　もやもやを言語にしてくれる。 ○　印象に残った言葉 ・　子どもの方が仲良くなりやすい。大人が苦手。 ・　「大人は嘘とかつくので、めんどくさい。」

No.	日付	収集内容
6	9 月 16 日	○　構成員とお世話役の減少(ボーイスカウトの団体活動から) ・　少子化とライフスタイルの変化、価値観の多様化で、構成する子どもたちやお世話を行う大人の参画が減った。 ・　最盛期の頃より、10 分の 1 にまで構成員が減少している。かつてひとつの団で小学生が 30 名参加していた頃があった。現在は 4 名。 ・　現在は帰国子女や外国にルーツのある方も参加されている(ボーイスカウトは国際組織でもある)。 ○　上記の話題から派生して ・　日本は少子化による人口減少がある。移民の受入れについて意見交換を少しだけ行った。 ・　野外活動の話題になり、ヒートアイランド現象の話題が出た(都心部でミンミンゼミが聞こえなくなり久しい)。 ・　山口県の仁保川では、川を使ったプールがあった。 ・　現在 53 才だが、40 年前、子どもの頃に学校の先生が言うていたのは昔は恩智川で泳いでいたという話を聴いた事がある。 ・　アプリ「clubhouse」で先日保育園の視察にいったお話を行う(clubhouse は現在招待状がなくなり、アカウントが取得しやすくなった)。 ○　初めてお会いする方もいるため、自己紹介 ・　社会教育を軸に活動をしている。「居場所」という言葉はフリースクールから出て来た。 ・　フリースクールは法整備が進んでいるが実状は学校で基準を設けるという条文も多い。 ・　若者支援の助成金について採択を受けたことで、市民活動の方々とつながった。 ・　現在は「絵の本ひろば」や「面会交流」のボランティアにも携わっている。以前は児童養護施設で勤務していた。 ○　共通認識づくり ・　子どもの教育・社会教育など、事例等も含めて、考えや答えはみなさんお持ちである。自分は何がしたいかが大切。 ・　ドッチボールクラブでの取組みは、学校で教えていない事を、昔の近所のおっちゃんのような「斜め上の存在」として接して取り組んでいる。 ・　春先にイベントをしたい。日本を変えたい。昔の肝っ玉母さんの様な方を育みたい(それに向けて、日本の歴史を学ぶ事や、clubhouse での発信のためボイストレーニングも受けている)。 ○　資格取得について ・　認定心理士は大学院を修了すれば、臨床心理士が取得できる(もしくは受験資格がある)→詳細はインターネット。 ・　2018 年頃から国家資格になった公認心理士を取得した事がある。しかし仕事には好影響はなかった。資格を取得することで専業・業務独占が出来るわけではないからである。 ○　学校現場 ・　学校の先生も全国で何万人も休職している。 ・　学校も息苦しい。学校も家庭もどちらも依存してしまう社会の仕組み・システムになっていることが問題だと思う。 ・　学校だけでなく、地域づくりも然りだと思う(行政への依存や補完)。 ・　校区まちづくり協議会も参画して「すごいね。」と周りの方々から自己肯定感をいただいている。 ○　「市民主体のまちづくり」は、ボランティアで良いの？ ・　行政が市民主体のまちづくりとして、市民や地域に移譲しているが全てを市民ボランティアで解決しようとするのは、やめてほしい。 ・　とてもあぶない解決手段だと思う。軸になる方には生活保障が出来るぐらいの人件費を捻出できる仕組みが必要だと思う。 ・　コンピューター・AI に任せるところは任せて、行政も人にしかできないことを対応してほしい。 ・　大きな組織は、縦割りの超えた連携した取組みをしてほしい。 ・　ボランティアは、ヨーロッパでは「志願する」という意味である。全ては自らであり、市民自治は社会教育や住民運動も関係している。 ・　上記の解決方法ではダメだと言うことを「市民」「行政」「市議会」が共通認識として持たないといけない。 ・　現在は、その共通認識がなく、皆、バラバラである。 ・　そこを横串する・啓発するのが「つどい」いった中間支援組織であり、地域では中間支援機能が備わった「校区まちづくり協議会」が担っていく役割だと思う。

No.	日付	収集内容
7	10 月 21 日	○　自己紹介 ・　都塚北町会：アクロスプラザとその周辺の商業開発・住宅開発により、新しく町会を興し自治会は 3 年目になった。情報関係のお仕事をされている。若い世代が多く住んでいる。 ・　曙川小学校区は子ども会がなくなり、町会の部会として「子ども部」が存在している。 ・　久々の参加です。10 年程ボランティアをしている。子ども部が定着して来た。小阪合町のポンプ公園も犬の散歩の時に掃除をしていたが、現在は利用者の使い方が変わり、また他の方も掃除をされているので、トイレ等がきれいになった。 ・　久々の参加です。物価高騰による学校給食の量と質について、最近、話題があがった。 ・　高美町 5 丁目町会：以前は長池に住んでいた頃は、町会活動・市民活動はご縁がなかったが、引越しを機にコミュニティが重要だと思い、町会長をさせていただいている。 ○　スマホアプリ「結ネット」 ・　高美町 5 丁目町会の現状をお話された。 (83 世帯の内 51 世帯が町会に加入。町会加入率は 61.4%。町会費：1 世帯当たり 300 円／月、町会未加入者：防犯灯電気代 1 世帯当たり 100 円／月) (都塚北町会は、191 世帯で町会加入率は 90%) ・　2012(平成 24)年の八尾市町会加入促進検討会議検討成果報告書から一部抜粋してお話された。 (町会加入率は 10 年単位で 10%程度減少している。令和 4 年現在、八尾市全体では約 57%の加入率) (町会長・自治振興委員アンケート結果から：町会活動への住民参加の課題として、参加者が少ない、担い手不足が考えられる。) (市民アンケート結果から：近隣とのお付き合いが大切、大切と考えるようになったと回答された方が合計で 78%を超える。大規模災害での近隣での助け合いは出来ると思う、これまでして来たの回答が 60%を超える。) (市民アンケート結果から：地域活動への参加協力の意向では、すでに参加していると回答があった 18.9%を除くと、参加に前向きな回答が 57%を超える。57%を超える回答の内、参加意向はあるが出来ない課題・障害があると 22.7%の回答も含まれる。) ⇒ 以上から、参加しやすさ、充実した情報共有、負担軽減、透明性、民主性を高めることが重要だとアンケート結果から言える。 ・　また、町会長・自治振興委員アンケートでは担い手不足の課題がある中、市民アンケートでは参加に前向きな回答が多いが、町会活動等に住民が参画出来ていないことが起きていると言える(ミスマッチ)。 ・　スマホアプリ「結ネット」のお話をされた。 (時間的不平等である紙媒体での回覧板、電子化でスマホから回覧が閲覧できる。閲覧したか既読機能があるので、既読していない際は再度連絡することも可能。) (アプリは自動翻訳機能がある。ただし、回覧板の回覧物の自動翻訳機能はない。) (会議議事録の閲覧、スマホ上での合意形成を諮ることも可能になる。) (アプリを導入すれば、いつでも誰でもが閲覧が出来る事から、情報等の透明性が高まり、開かれた町会運営が可能になる。) (災害時は「災害モード」に切替え「災害時安否確認システム」として安否確認で支援 (町会活動の事例①：ペット散歩マナー向上として、「イエローチョーク作戦」を行い、フンを見つけたら黄色のチョークで丸を囲み、日時を道路に記入。後日再確認した日時をまた記入。フンが無くなった日時を記入する事で、啓発することが出来る。町会加入者にお願いをすると、イエローチョークを使わず道のフンがなくなった。) (町会活動の事例②：カラス対策として電線にカラス除けを関西電力に依頼をし、アプリで町会の鳥除け対策状況を地図で把握する事が出来た。野良猫の糞尿被害も地図で同様に把握する事が出来た。) ・　質疑応答(特記部分のみ) Q1：回覧板を紙媒体からアプリでの電子媒体に移行する際は、2 種類の媒体を並行していたのですか。 A1：移行期間を設けた。移行をスタートした時は、電子媒体へ移行した世帯は 3 割程度。3 ヶ月でほぼ移行したが、外国人世帯の方に説明やインストールのサポートを行い、1 年で完全移行が出来た。同時並行はしんどかった。) Q2：回覧板を紙媒体からアプリでの電子媒体に移行する際には、総会等で合意形成・決議を諮ったのですか。 A2：2019 年に「結ネット」を導入した。コロナ禍になり対面がしにくい点を考慮して、電磁決議に切り替えたいことをアンケートにて行い総会で決議を行った。 ただ電磁決議として「結ネット」を本格始動したが、アプリはツールなので、「結ネッ

ト」を導入したいという決議は行っていない。

Q3：アプリの費用について教えてほしい。

A3：一般的には 1 世帯 120 円／月の費用がかかる。2017 年～2018 年に何度も熱心にアプリ提供会社と話合って、八尾市のモデル町会として無料で使えるようになった(八尾市に話をしたこと、つどいで相談に乗ってもらったことが無料化になった)。
他の町会が使用する際は、代理店を通さないといけない仕組みになっている。代理店のマージンも入るので、町会運営アプリ「結ネット」を普及したいので、自ら合同会社を立ち上げて代理店になった。
アプリ使用料が月 120 円／世帯だが、かなり費用を抑えて提供することが出来るようになった(月 30 円程度/世帯～)。

○ 意見交換①：災害時の考え方の普及にも寄与できれば。

・ 災害モードへの切替について、災害時にネット環境がなくなった場合はどこまで対応が可能なのかと感じた。
・ ただ情報を共有していることはとても大切だと感じた。災害時、町会加入者はいち早く何か救援をしてもらえると思っているが、そうとは限らない。
・ 自助と共助が基本であることが前提になる。アプリを活用しながら、その考え方も共有して理解してもらえたら、ありがたい。
・ 災害時、食料・物品の救援の際に、町会加入者名簿があると救援を受けやすいが、町会加入者でない場合は身分証明でどの地域に住んでいるか証明する必要があるので、すぐに救援を受けにくい場合があると聞いた事がある。

○ 意見交換②：世代間での使いこなせるギャップをどう埋めるか

・ 若い世代といったアプリ利用がスムーズに対応出来る世帯が多い町会では普及が進むと思うが、高齢者世帯など使いこなせない方の支援方法が必要ではないだろうか。
・ 説明会を開き、使い方をお教えする事は可能である。使えない事でどのようなお困りがあるかを共有する場も必要であり、そのようなお話をする場と回数も必要かと思っている。
・ 若い世代が全くいない町会もあるかもしれないが、アプリ利用がスムーズに対応が出来る方が少数でもいらっしゃれば、横串で助け合えたらと思っている。
・ 近隣の中年層が複数世帯で町会をやめられたという事例がある。

○ 防犯灯の電気代の徴収・協力について(八尾市内の町会事例)

・ 町会未加入者には、年間 1,000 円／世帯の協力金をいただいている。ご自宅までインターフォンを押して説明して回っている。
・ 町会未加入者には、防犯灯の電気代及び電球交換費用の協力金のお願いを文書にして各世帯のポストに投函している。90%の加入率なので、20 世帯程度、訪問している。
・ 防犯灯の電気代の協力金のお願いについてアプリで記事を投稿した後、既読機能があるので、未読の方には再送信している。ポストに投函する手間を減らす事が出来た。
・ 防犯灯は行政が全てを設置・管理していると思っている方が多いが、電気代やメンテナンスなど町会で行っていることを知らない方が多いと思う。

○ LINE の活用は？

・ 市民活動として公式 LINE を導入して、参加申込と受付が双方でやりやすく助かっている。LINE の活用状況はどんな感じなのか。
・ 「結ネット」のアプリを活用しながら、役員間の連絡等はグループ LINE で行っている。小グループの連絡は LINE が便利だが、「結ネット」は町会運営に特化したアプリで町会全体の運営を行う場合には「結ネット」は優れたツールになると思う。

○ その他

・ 独居高齢者を見守る機能が「結いネット」に機能が追加された。これからも機能がバージョンアップされると思う。
・ DX(デジタルトランスフォーメーション)は、直訳すると「デジタルによる変容」となる。デジタル技術を用いる事で、生活や仕事や各種活動が変容していることを DX と言われている。
・ IT 化は、既存の過程(プロセス)を効率化するので手段を変えることで、変化が分かりやすいのが特徴である(例：手紙を電子メールに移行する)。
・ DX 化は、全体に関わる根本的な変化が特徴である。(例：これまでの既存の過程(プロセス)を人間が携わらず、AI(人工知能)が全て対応する)。
・ 八尾市では国の施策の関係で、DX 化の補助金制度が始り、申請して補助金が降りた。
・ 吹田市では自治会運営の支援のホームページがあり、町会の立上げ・各種手続き等のダウンロード・自治会ハンドブック(マニュアル)・連合町会(八尾市では自治振興委員会)で回覧依頼があったデータの閲覧及びダウンロードが出来る。
・ 吹田市役所　自治会ホームページ：
https://www.city.suita.osaka.jp/kurashi/1018566/1018569/index.html

No.	日付	収集内容
8	11 月 18 日	○　参加者の活動紹介 ・　国際交流センターでは、ラサーラで 12 才までを対象に日本語を教えている。 ・　小学校の放課後学習では、児童指導委員として携わっている。 ・　専門学校では、臨時講師として Zoom にて日本語会話の授業に携わっている。 ・　育児休暇と引越しを機会に、地域で自主防災組織や町会活動に携わっている。 ・　お母さんをしてなかったら、市民活動や地域活動には携わっていなかった。 ○　地域の課題 ・　都塚北町会は、数年前に住宅開発がされた区画である。大字刑部から都塚北 1 丁目に住居表示として新しい町名が生まれ、立ち上がった町会である。 ・　区画整理以前に、曙川小学校区の自治振興委員や地区福祉委員の方が、これまでの土地名から刑部小学校区だと思っていた時期があった。これら団体は曙川小学校区であることがわかった頃から、小学校と共に八尾市への働きかけを始めていた(道路の確認はされたが、事業化への話には至らなかったようだ)。 ・　曙川小学校への通学路の道路が田んぼのあぜ道・農道(里道かも)を拡幅した道路であり幅員は 4 メートル以上あるが、自動車が双方向で行きかう事もあり、歩道の確保が難しいことから児童の通学路としては危険を感じている。 ・　八尾市と八尾市教育委員会と八尾警察に協議を通じて、児童が安全に通学出来るように働きかけを行っているが、今年度、数回に渡り会議を実施し実際の通学路ルートの検討などを行っているがスピード感がない。この道路はスクールゾーンに指定されている。 ・　土地所有者が道路に面する土地を提供され、幅員が 4 メートル以上になっている(提供した土地は市道になっているのか、私道となっているかは要確認)。 ・　現在は、都塚北町会の住民の内、40 名程度の児童が通学路として使用しているが、5 年後の 2027(令和 9)年には 200 名程度の児童が通学路として使用するので、交通事故といった通学時の危険性を感じている。 ・　児童の通学路として道路を拡幅する際は、町会としては危ない箇所や一部範囲だけでも拡幅が出来るように協議で要望をしている。しかし、八尾市・八尾市教育委員会は道路に面する土地所有者全員が賛成をしてもらわないと、拡幅工事の事業化ができないという回答であった。 ・　危ない箇所や一部範囲といった拡幅に賛成している土地所有者の土地だけでも拡幅してほしいのだが、反対している土地所有者が分かってしまうことを考慮して、上記の様な回答をされているのではないかと思う。 ・　また、道路に沿って一部水路があり、柵を設けて堰き止め水位を上げる事で畑や田んぼに水を入れているため、水路を暗渠にする事は難しいかもしれない。 ・　八尾警察には、道路の交通規制として登校時間・下校時間の時間規制をお願いしたが、許可車を出すのに、毎年度、住民全員から賛同をもらう必要があるため、二の足を踏んでいる様子である。 ○　地域課題の解決に向けて、発想を変えた意見交換 ・　この地域の課題をお聴きすると、地域で総意を得てから、行政と話し合って要望してくださいという風に感じる。変な所で「自治」を求めているように感じる。 → 後日、土地所有者が外環状線より山側の方だとわかり、曙川小学校区の住民ではないため、地域の自治としての全員の意見ではなく、土地所有者全員の意見とこの道路を利用する住民の意見の両方の総意が必要であるので、さらにハードルが高い。また、土地所有者とこの道路を利用する住民の意見で相違があった場合の調整も大変である。 ・　全員賛成という考え方は法律上のルールなのか、これまでの行政の方針や前例がないからなのか。 ・　田んぼ・畑に水を入れるために水路の暗渠が難しい場合は、仮に水路の上に鉄板を敷くといった応急処置的な方法は出来ないだろうか。 → 後日、参加者 1 名が現地まで確認された。水路に現時点では蓋はないが、フェンスで転落保護されていた(一部、フェンスなしの箇所もあり)。 ・　バスなどで児童を輸送することは出来ないだろうか。 →後日、確認したが、町会役員会の中でも出たアイデアであった(スクールバスを依頼した際の試算はまだである)。 ・　反対に道路をかつてのように幅員を狭めて、地主にお返しして、歩道専用道路にすることは出来ないだろうか。 ・　道路に面している運輸業者さんが自動車の交通がある場合は、代替地を提供するという考え方もある。 ・　全員賛成をもらう、一部賛成のところだけでも拡幅するという相反する考え・意見が対立

する関係(白か黒か)になってしまうので、別の解決方法を考えることも必要ではないか。

・ 子どもを守るという共通認識の基、別の解決方法として、違う方法を考える、ルール・あり方を考える。知恵を出す方が建設的な話合いが出来るのではないか。

・ スクールゾーンになっていると言われていたが、グーグルマップを見るとスクールゾーンと舗装された様子が見えないので、現地で確認がいる。
→後日、確認し昨年度、スクールゾーン指定をいただき、ホワイトラインとグリーンラインの 2 本を引いていただいた。しかし、ラインを引くだけでは解決できていない状態である(例えば、幅員が狭くてホワイトラインが引けないところや、グリーンラインを引いているが、それよりも外に歩ける場所がない)。

○ 地域活動に関する動き・DX 予算・感じている事など

・ 八尾市では 50 町会を対象に DX の補助金を予算化された。

・ 前回紹介された町会運営アプリ「結ネット」を活用してデジタル化で対応する考え方もあった。既存のアナログの回覧板をお隣さんへポスト投函ではなく、対面でコミュニケーションを図り、ご高齢者世帯の方も含めて安否確認の役割もある対面式で回覧板を回す方法も必要だと感じた。

・ 西山本小学校区まちづくり協議会が災害時に玄関に安全旗を掲揚する取組み事例を知り、高美小学校区まちづくり協議会では玄関に黄色のマグネットを貼る取組みを実施する。しかし、校区まちづくり協議会事業で行うため、町会未加入者も対象に黄色のマグネットを配付するが、町会未加入者への配付方法は町会長達が配付することになった。結局は、地域活動の基本組織は町会だと実感した。

・ 高美小学校区まちづくり協議会は、高美小学校との連携が多く関係性が深まっている。子ども達の遊び場も行うそうだ。

・ 12 月 1 日は高美小学校の児童を対象に、高美小学校区まちづくり協議会が主催するワークショップに「つどい」もファシリテーターの補助としてお手伝いに行くことになった。

・ 活動に参画して個人的に感じるのは、校区まちづくり協議会よりも町会の方が課題は多いと感じる。

・ 町会運営アプリ「結ネット」の導入が町会活動や自治振興委員会など様々な地域活動を共有化して透明性が高まる手段になればと思う。

・ また一方的な連絡・情報発信でよい場合は、オープンチャットもある。双方向での情報共有や提供、コミュニケーションを図るのであれば、町会運営アプリ「結ネット」があることも理解した。

・ 町会運営アプリ「結ネット」の様なアプリを導入して行った場合、町会にもよるが、回覧板ひとつとっても従来からの紙媒体とスマホでのデジタル媒体のハイブリッドが当面は続くのではないかと感じた。

・ 例え話になるが、銀行での預入と引出などはかつては窓口で通帳と銀行印を持参して行うことが主流であった。コンピューターの普及で現金自動預け払い機(ATM)の登場でキャッシュカードがあれば預入や引出などが可能になった。テクノロジーの進化に合わせて新しいツールや方法があれば人も進化を遂げて来た。また進化に付いていけない方・都合が合わない方には現在も銀行では支店の減少や手数料の高騰もあるが窓口対応は残っている。この町会運営アプリ「結ネット」もアナログ媒体を無くす目的ではなく新しい選択肢の提供である。また上記でお話のあった対面での回覧板が必要な所は残すのも方法だと思う。またそれ以外に上掲で述べた運営の共有化・透明性を高める役割なども期待されている。
⇒参加者から開催後に感じた点を追記

・ 現在の各町会の情報共有不足を顕著に感じた、DX 補助金がある事が共有されていない、町会の目的についての情報共有がなく、おそらく町会のイメージが各個人・各町会でバラバラになっている様に思える。

・ 「結ネット」が情報共有に有効なツールであることは理解いただけたと感じたが「結ネット」を使って町会運営が活発になる事と同時に役員側の負担も増えると懸念されている様にも感じた。今の時代のコミュニティ運営の難しさ、コミュニティのためにどれだけ個人の時間を提供できるか、時間を提供した場合に個人へのリターンが望めない事が共通課題ではないだろうか。

※ DX : デジタルトランスフォーメーションの略。全体に関わることを根本的に変えることを指し、手段ではなく目的を指すことが多い。
例示：人が手紙に書く内容を考え書き、郵便で人が手紙を届けることを、全て AI(人工知能)やロボットが手紙の内容を考え、手紙を届けることを行う。

※ 参考：IT は従来からある過程(プロセス)・やり方をコンピューターやネットワークに変えて行く行為を指す。効率化を図る意味合いもある。やり方・手段(ツール)を変えることの意味で使用される。
例示：手紙を手書きし、郵便で手紙を届けることを、パソコンとインターネットを使用して電子メールで送信するやり方に変える。

No.	日付	収集内容
9	12 月 23 日	○　市民活動団体のつながりづくりの報告(つどいから) ・　八尾市主催・NPO 法人八尾すまいまちづくり研究会が企画・運営された「仰天　60 年前の八尾のまち」で展示されていた写真の内、現存していない大信寺の太鼓楼が撮影された写真と光専寺周辺のまちなみが撮影された写真を、つどいからの提案で大信寺と光専寺に寄贈が可能であることを伝え、寄贈を希望されたため展示された写真を提供した。 ○　美園小学校区まちづくり協議会のお助け ・　校区まちづくり協議会連絡会において、中環の森で「NPO 法人河内木綿藍染保存会」「NPO 法人自然環境会議八尾」「美園小学校区まちづくり協議会」が連携して「緑の回廊(アドプトロード)」として河内木綿と菜の花の栽培に「つどい」が「美園小学校区まちづくり協議会」をつないでくれたことに感謝をされていた(貴協議会は、現在、実施主体兼コーディネート役として携わっている)。 ○　様々な話題 ・　マイクロソフトのソフト「チームス」では Zoom のようなリモートが可能であるが、加えて遠隔操作で相手のパソコンのマウス操作が出来るのが特徴である。 ・　奈良県吉野では 30 センチ近くの積雪があり、終日雪かきをしていた。 ・　八尾北高校にベトナムからの留学生が来たと聞いたことがある。 ・　前回、都塚北町会の事例についてお話があった後、参加者から現状報告があった。 ・　上記の事例に関して、つどい井戸端会議では解決をする場ではなく、目的や共通認識が何か、様々な視点でのアイデアや意見が出る場である(前回、途中退席されていたので、参加者同士で共有化のズレがあった)。 ・　高美町 5 丁目町会の様に、住宅開発で同じタイミングで住まれた方はある程度の共通点があるが、多様な方が住む町会ではどのように町会運営や町会運営アプリの導入を行えばよいのだろうか。町会活動をやりたくない人はどうすればよいのだろうか。 ・　高美町 5 丁目町会は、一般社団法人 Happy Tabby さんと協働で野良猫の去勢・避妊を行った。 ・　過去のつどいブログで、つどい井戸端会議参加者に有益な情報があれば、つどい井戸端会議の Facebook グループに流してほしい(市民活動支援基金の成功例の話をブログでまとめていることを知らなかったため)。 ・　物価高騰により給食費用では賄えない点が出ており質の低下が出ている(例えば、価格高騰でほうれん草が提供できないなど)。 ・　かつて市民活動団体の支援があったことで子育てを助けてもらった。 ・　高美小学校区まちづくり協議会の防災訓練では、玄関先に黄色のマグネットを貼ることを実施したが、現在、振返りを行い、成果と課題点を洗い出している。 ・　今日は、1 才～78 才まで多様な世代が参加する「つどい井戸端会議」になった。 ○　活動時のモヤモヤを相談する場づくり(参加者からの提案) ・　これまで活動をしていて、ライフスタイルの変化もあり、モヤモヤすることがある。そんなお悩み相談を近畿大学総合社会学部総合社会学科・まちづくり系専攻の久隆浩教授にお越しいただき、もしくは Zoom 出演していただき、事例等のお話をお聴きしたい。先日、Facebook のタグ付けの件で、メッセージのやり取りをさせてもらった時に、いつでもお話しますよとご返信をいただいたので、開催が出来ればと思った。 ・　「つどい井戸端会議」とは別に日程を決めて開催した方が良い(自由にお話する井戸端会議とは趣旨が異なるため)。 ○　つどい井戸端会議で携わって良かったこと(今年 1 年を振返って) ・　引越し・産休・育児休暇で孤独になりがちだったが、つどい井戸端会議に久々に参加して、防災活動について、つどい井戸端会議の参加者に地域で活動されている方を紹介してもらい、それがきっかけとなって、現在は高美小学校区まちづくり協議会の防災活動に参画するようになった。地域とつながり、活動に携わり見識が広がった。「つどい井戸端会議」が育児休暇の主婦が真剣に語れる場として、そしてまち協など地域社会とつなげていただき、非常に助かった。 ・　大東市の放課後デイに携わっている方とつどい井戸端会議で出会ったことで、現在では大東市の放課後デイにスタッフとして携わるようになった。 ・　放課後デイに携わってもらった事を機会に帰り道で一緒に買物が出来た。リアルな対面の場や活動につながる事が出来た。

No.	日付	収集内容
10	1 月 20 日	○　参加者の近況など ・自分が好きな芸能人を追っかけている。家族がファンクラブに登録してくれた。家族も応援。各参加者も興味を持ちながら話を聴き込む。 ・Zoom で先にお会いすると、初めて対面でお会いしても、「初めまして」とはならなかった。 ○　コロナ禍の影響 ・年末に感染してダウンしていた。 ・感染をして、とても苦しかった。二度と同じ苦しみは経験したくない。 ○　昔からの想い ・若くに結婚をしたが、高校生の時から青年協力隊に行きたかったが実現できなかった。日本人・外国人問わず、どんな方でもウエルカムで接したい想いがある。 ○　所有のない世界・考え方 ・言語学者の伊藤雄馬氏が東南アジアの中で特にタイ・ラオスで話されてるムラブリ語の研究をしている。ムラブリ族(ムラブリ語で、森の人という意味)は、所有の概念がなく親関係なく、みんなで子どもを育てる、この世は虚構(実際にはなく、作り上げた。フィクション)の世界だという考えを持っている。ムラブリ族に関する書籍を読み、何かを所有すること、欲望を追っかけて行くと苦しみが生まれる中、ムラブリ族の考え方・生活のあり方は自分自身を見直し考える機会になった。 ○　世代間交流で学びと発見 ・傾聴ボランティアに携わったのは、80 代・90 代の方のお話を聴かせてもらい、自分自身が成長しようと思ったからである。ドッジボールクラブに携わったのは、子ども達と接していくと色んな発見があるから。90 代から子どもまで、年齢のギャップがとてもあるが、色んな人に知りあえた。 ○　後進のための人育て ・60 才をきっかけに後進の邪魔にならないようにしようと思った。後継者を作ってなんぼだと思う。 ・コーチを譲った所もあり、30 代から 50 代が頑張るようになった。 ○　柔軟な生き方と配慮 ・現在は、柔軟な生き方がもっとあって良いと思う。義務教育・高校の六三三制は柔軟な生き方から見るとナンセンスではないだろうか。今は、インターネットで学べる環境がある。 ・海外とつながって仕事をされる方もあり、海外に出稼ぎに行く人も増えている時代でもある。 ・100 円均一のダイソーでは、高校生のアイデアから商品にした物もある。 ・嫌な勉強をさせるのも、人権に触れるのではないか。配慮が必要ではないだろうか。子ども達がつたない表現でも聞き取ろうとすることは大切ではないか。 ○　多様性と共通認識 ・文化・歴史・伝統・自然環境など日本の根本的な共通認識が要にあれば、様々な多様性や多様な価値観は認め合えるのではないだろうか。

No.	日付	収集内容
11	2 月 11 日	○　参加者の近況など ・参加者のお孫さん紹介・お子さん紹介をいただいた。 ・町会で地域猫の取組みとして、つどい登録団体「(一社)Happy Tabby」と連携し、貴団体独自の支援金により、5 匹ほど去勢・避妊手術を行うことが出来た。地域猫は動物愛護として駆除は出来ないので、手術で対応している。猫はハーブを嫌うそうだが、町会ではまだやってはいない。 ・放課後デイとして、日清食品のカップヌードルミュージアムに遠足に行った。引率をして疲れた。1 人の子どもに大人 2 人でないと大変だと体験してわかった。 ○　少子化の影響と外国にルーツのある方々 ・とある地域のソフトボールクラブは 3 名しか在籍していない。 ・少子化もあるが、子どもを産みたくない、結婚したくない、出会いがない、生活の余裕がないと理由があるのではないか。 ・町会加入者もベトナムの方がいる。町会アプリ「結ネット」で翻訳されて掲載されるので、地域一斉清掃も参加していただいている。 ・外国にルーツのある方々は、その方々だけで固まっているイメージを持たれるが、決してそうではない。そのイメージが強いので、子どもも大人も友達が出来にくい。我々、日本国民がそのようなコミュニティにも入っていかないとダメではないか。 ○　子育てとその支援の制度 ・様々な制度があるがマッチしない。行政サービス・制度の情報に辿りつかない。 ・行政サービス・制度も「ご相談ください。」と記載されていても、相談・悩みの大きさを示してほしい。また「こんなんよう言わん。」と言い問合せない。どういう時に利用できるのか、具体的に書いてほしい。 ・本当に困っている時に、どこに行けばよいかわからない。情報が行き渡っていない。 ・誰か助けてほしいという想いがあった。 ・核家族だったので、祖父母も住む拡大家族の方をひがんでいた時期があった。 ・毎週土曜日は、孫を幼稚園まで迎えに行っている。 ・保育所の申込の際に、出勤時間が 1 時間長いと 10 点の差があり、命取りだった。 ・母親に負担が行く仕組み。気持ちがすり減る仕組みをなくしてほしい。 ・昔と違い、周りに人がいない。助けてくれる人がいない。共働きでの子育ては難しい。 ・保育園のお迎えに行く時間がバラバラなので、ママ友が出来にくくなった。 ・子どもが小学校に入学すると、ママ友との関係が途切れる。 ・親はモヤモヤ。自分の育て方が悪いのかなと責めてしまう。 ・しんどい時に、しんどいとは本人は気付きにくい。 ・子育てパートナーは、傾聴が基本である。 ○　子どもエコクラブでの活動における副産物 ・同じ意識、方向を向く人たちが一緒にいる安心感があった。 ・そのような方々の居場所になった。ワチャワチャ話せて、居心地が良かった。 ・子どもたちの関心が向くことが多く、心の余裕がなくなっている。 ・やりがい、「そうやね。」の共感が減っている。 ・現地での草抜きは癒された。現実を忘れることが出来た。 ○　居場所と孤独の社会学 ・社会教育もブツ切りになっている。 ・共働きで家を守る者がいなくなり、学校・行政に頼らざるを得ない環境がある。 ・子どもの頃から求められる能力が多くあり、閉塞感を感じることで、結果、自己肯定感が他国の子ども達よりも低くなる。 ・アイデンティティーの変化から、ないものを求めるようになった。 ○　子どもの本来の姿を引き出してあげる ・子どもは遊びを生み出す天才。出来上がったものを使う時代ではあるが、あるもので遊びをつくる。工夫することで遊びを生み出すことが、本来は子どもに備わっている。 ・高美地区福祉委員会では、工作と宿題を行う「すくすく」事業がある。土曜日に高美小学校の体育館で行われ、大人・子ども問わず、様々な人間関係・つながりが生まれている。

No.	日付	収集内容
12	3 月 17 日	○　参加者の近況など ・カナダのプリティッシュコロンビア大学院生が 40 名来られた。日本の古典文学を研究しており、寺の修行先の女人禁制について質疑が多かった事をお話された。 ○　告知と連携(公式ドッジボール親子体験会) ・開催の趣旨は公式ドッジボールを知ってもらい、子育てにも親子の交流にもつながることを体験してもらう。そして、終了後、高安中学校区まちづくり協議会からウォーキングマップの配付を通じて地域の魅力についてご案内をいただき、参加者各自でのペースで高安山周辺のまち歩きを行ってもらい、地域にもつながってもらうことも目的に開催される。 ・FM ちゃお・東大阪新聞が取材に来られる。 ・参加申込の定員まで若干の余裕があるため(現在 7 組の親子の申込あり)、広報を行いたいとお話・相談があった。 ・つどいが相談対応として、つどい井戸端会議に参加をしていた高美町 5 丁目町会長に「結ネット」で電子回覧機能を使って開催ちらしを回覧いただくよう依頼を行い、快く引き受けていただいた。 ・つどい井戸端会議に参加していた方のお子さんもドッジボールに参加したいと言っていたことから、都合を見て参加できるか検討いただけることになった。 ○　「あきらめる」という言葉の元々の意味 ・あきらめるという言葉は、ネガティブなイメージがある。 ・しかし本来は、「明らかに見る」が語源である。本質を見て、「やるか」「やめるか」を決めるというのが元々の意味である。決してネガティブではない。 ○　大東市の放課後デイサービス「ファミリズム」 ・現在、参加者のひとりが専従スタッフとして活動をしており、つどい井戸端会議に参加している方も、スタッフに携わってもらえるようになった。これも「つどい井戸端会議」でつながったおかげである。 ・放課後デイサービス「ファミリズム」は、4 年以上前に八尾市と「つどい」の共催で開催した八尾市制 70 周年記念事業「まちとつながりとハッピーの会」の舞台にダンス出演された経緯がある。当時の出演した際の団体名は、I☆Lab(アイスターラボ)。 ○　参加者の故郷と八尾市との関係 ・山口県防府市には玉祖神社があり、八尾市神立 5 丁目にある玉祖神社の総本社である。 ○　八尾市子ども・子育て会議 ・参加者が公募をされ、いち保護者として感じていることを意見されたと話があった。親の気持ちや時間の余裕、声に挙げることの大切さや声の挙げ方も大切だと感じておられた。 ・お話を聴いて、声を挙げられない方を支援すべきではないかという参加者の意見があった。 ・NPO 法人 Social Change Agency 代表理事である横山北斗氏が著者である「15 才からの社会保障　人生のピンチに備えて知っておこう！」という書籍紹介もあった。各事例・ケースとそれに見合った制度や相談窓口を紹介している。

○　「プリズム運営ネットワーク会議」への参加(3 月)

- 「プリズムホール」「FM ちゃお」「八尾市観光協会」「つどい」の 4 者が集う情報交流会。
- 1 年振りに開催し近況報告を実施。
- FM ちゃおは : 来年度までの中長期計画期間におけるこれまでの取組みと来年度の取組み(市の予算削減とイベント業務での売上向上の自助努力と課題、コミュニティ放送局の現状、人づくり・人育てが出来てなかったことが業務に影響が出ている)。
- 八尾市観光協会 : ふるさと納税の寄附金の寄附額と寄附件数の上昇に伴う成果と課題(寄附者と返戻品業者とのやり取り対応、FM ちゃおとの連携による職員派遣)
- プリズムホール : 来年度の法人の事業計画の説明を通じて、昨年度から基本理念を変え、8 つあったミッションとビジョンを 3 つに絞った。コロナ禍の影響により大ホール・小ホールの稼働率は上昇傾向であるが、会議室・レセプションホールの稼働率が上昇していない。リモートの普及により対面による交流の減少が影響していると分析。
- 備考(災害時のラジオの必要性) : 震災時に 24 時間以上経過し通信機器が使用不能になった場合において、ラジオが最後のインフラとして役割を果たす。役割としては、①避難所まで行けない方など孤独にならないためにラジオで呼掛けることで安心とやすらぎを提供する。②誰がどこに避難しているかと言う安否情報など八尾のローカルな情報を提供できる強み。③公共のコミュニティ放送局から情報を流す信頼性(インターネット情報などによるデマをデマであることも情報を流せる。どれが正しい情報であるか八尾市と確認を取りながら公共として信頼のある情報を流すことが出来る)。
- 備考(FM ちゃおの日頃の取材の意義) : 取材先で顔や名前を覚えてもらうことにより、災害時、取材で顔と名前を覚えてもらえた馴染みのあるパーソナリティが情報提供することで親近感を持ちより安心ややすらぎと信頼のおける情報であると認識してもらえる。

解説・経過：「プリズム運営ネットワーク会議」について

- 2015(平成 27)年に各専門分野に関してコーディネート機能を持つ組織・施設において、分野を越えた連携や分野間の関連を深めるために、「プリズムホール」の指定管理者である(公財)八尾市文化振興事業団が立ち上げた場である。
- 「プリズムホール」「八尾市観光協会」「つどい」「FM ちゃお」(当時は、生涯学習センター「かがやき」も参画)がコアメンバーとして声がかかり、初回より「つどい」は参加している。
- 組織・施設間同士の情報交換や課題を相談や共有する場として、当初は年に複数回開催された。
- 2018(平成 30)年度以降は、年に 1 回開催をしている。

【イ】　多様な主体による社会貢献活動に関する情報提供

○　広報支援(情報発信の支援)：つどいブログ・SNS での情報発信

No.	日付	内容	団体名	発信ツール
1	4 月 3 日	『地域コミュニティカフェ yotteco』へ取材に行ってきました！	・　地域コミュニティカフェ yotteco	取材記録から「つどいブログ」で発信
2	4 月 17 日	地域の憩い場『サロンさくら』が二年ぶりに再会されます！	・　地域で子育て応援隊	チラシから「つどいブログ」で発信
3	4 月 17 日	「八尾廃校 SATODUKURI BASE」開校日に行ってきました！	・　八尾廃校 SATODUKURI BASE	取材記録から「つどいブログ」で発信
4	4 月 24 日	『健康イキイキ生活フェスタ』にいってきました！	・　訪問マッサージ治療院みらい	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」「Instaram」のストーリーで発信
5	5 月 6 日	お琴演奏：宥慈会(桐の会)勉強会【4/24(日)】(市民活動の解説付き)	・　宥慈会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
6	5 月 7 日	団体寄稿：フラ・ヴィーナス　久宝寺緑地でフラダンス出演	・　フラ・ヴィーナス	寄稿から「つどいブログ」「Twitter」で発信
7	5 月 8 日	城正会商店街「ちびっ子まつり」開催のお知らせ	・　うぐいすの会	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
8	5 月 8 日	5/15(日)「ボーイスカウトと遊ぼう」イベントお知らせ	・　八尾市スカウト協会	チラシから「つどいブログ」で発信
9	5 月 15 日	八尾廃校 SATODUKURI BASE さんに来ました！	・　八尾廃校 SATODUKURI BASE	取材記録から「Instagram」のストーリーで発信
10	5 月 19 日	『譲渡型ねこ空間　ころん』へおじゃましました♪	・　八尾ねこの会さくら	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
11	5 月 20 日	【5 月 29 日開催】ロケットを作って発射！みらいモデルロケット教室	・　株式会社 MIRAI	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
12	5 月 20 日	【7 月 10 日開催】八尾ねこの会さくらさん主催、おまつりフェア！	・　八尾ねこの会さくら	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
13	5 月 27 日	献血事業のお知らせ【南山本地区福祉委員会から】	・　南山本小学校区まちづくり協議会	寄稿から「つどいブログ」「Twitter」で発信
14	6 月 3 日	校区まちづくり協議会 PR 動画！チラシのデザインに携わりました！！	・　校区まちづくり協議会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
15	6 月 12 日	夏休み直前の親子キャンプはいかがですか？(^^)【ボーイスカウト】【イベントお知らせ】	・　八尾市スカウト協会	チラシから「つどいブログ」で発信
16	6 月 12 日	ちびっ子まつりへ行ってきました♪	・　うぐいすの会	取材記録から「つどいブログ」「Instagram」で発信
17	6 月 23 日	上空 80mまで飛ぶモデルロケットづくり	・　株式会社 MIRAI	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
18	6 月 29 日	はぐくみホーム(養育里親)オンライン体験発表	・　特定非営利活動法人キーアセット	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
19	7 月 3 日	高安西小学校区のみなさまと、ワークショップ第二弾を開催しました！	・　高安西小学校区まちづくり協議会	取材記録から「つどいブログ」で発信

No.	日付	内容	団体名	発信ツール
20	7 月 8 日	高安悠画会　アリオ八尾絵画展【6 月 10 日開催終了】	・　高安悠画会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
21	7 月 15 日	「ジェニエコ事業説明会」いよいよ始動します！！	・　ジュニアエコノミーカレッジ	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
22	7 月 16 日	2022 年度“子どもたちのこころを育む活動”大募集＾＾	・　公益財団法人パナソニック教育財団	チラシから「つどいブログ」で発信
23	7 月 21 日	【8 月 10 日・11 日開催】小学生対象！こととさん主催イベントのご案内	・　ことこと	チラシから「つどいブログ」「Twitter」「Instagram」で発信
24	7 月 21 日	【イベント情報】目指せ！！防災リーダー！YouTube で視聴可能！防災リーダー養成講習のご案内	・　八尾市消防署	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
25	7 月 28 日	ジュニアエコノミーカレッジ「ドリームセミナー」開催	・　ジュニアエコノミーカレッジ	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
26	7 月 30 日	「夏の夕べのひととき」八尾経営・技術交流会(マテック八尾)7 月度例会	・　八尾経営・八尾技術交流会(マテック八尾)	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
27	8 月 3 日	≪開催延期のお知らせ≫【8 月 10 日・11 日】小学生対象！こととさん主催イベントのご案内	・　ことこと	チラシから「つどいブログ」で発信
28	8 月 6 日	【先着 20 名！】ワークショップに参加してみませんか？【南山本小学校区まちづくり協議会主催】	・　南山本小学校区まちづくり協議会	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
29	8 月 13 日	「八尾本町センターマルシェ」の開催　～小売市場の地で地域の賑わいづくり～	・　PURE QUEEN	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
30	8 月 19 日	【8/31(木)まで】つくって飾ろう！絵カップとうろう！	・　久宝寺寺内町まちなみセンター	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
31	8 月 20 日	8/20・8/21 アリオ八尾燈路プレイベント	・　久宝寺寺内町まちなみセンター	取材記録から「Instagram」のストーリーで発信
32	8 月 24 日	【9 月 11 日(日)開催】保護ねこ譲渡会のお知らせです♪	・　八尾ねこの会さくら	チラシから「つどいブログ」で発信
33	9 月 4 日	【ジュニエコ】子どもたちの模擬店が大信寺に並びます！	・　八尾商工会議所青年部	チラシから「つどいブログ」で発信
34	9 月 10 日	Café ふらここさんへ	・　ふらここ	取材記録から「Instagram」のストーリーで発信
35	9 月 10 日	9/11(日)久宝寺寺内町　燈路まつりが開催されます♪	・　久宝寺寺内町まちなみセンター	チラシから「つどいブログ」で発信
36	9 月 11 日	ジュニアエコノミーカレッジ	・　ジュニアエコノミーカレッジ	取材記録から「Instagram」のストーリーで更新
37	9 月 15 日	わんちゃん＆ねこちゃんイベント	・　八尾ねこの会さくら	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
38	9 月 15 日	寄稿「すみれ子供会」盆踊り大会	・　すみれ子供会	寄稿から「つどいブログ」「Twitter」で発信
39	9 月 15 日	ジュニアエコノミーカレッジ実践販売	・　ジュニアエコノミーカレッジ	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
40	9 月 15 日	第 13 回久宝寺寺内町　燈路まつり	・　久宝寺寺内町まちなみセンター	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
41	9 月 16 日	【10/8(土)開催】ふたご・みつごママパパ交流会のご案内	・　えだまめっこひろば・さくらんぼキッズ	寄稿から「つどいブログ」「Twitter」で発信
42	9 月 16 日	ボーイスカウト活動写真展・体験コーナーに伺いました！！	・　八尾市スカウト協会八尾第 4 団	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
43	9 月 18 日	11/3(木・祝)開催！【ボーイスカウト】イベントのお知らせ	・　八尾市スカウト協会八尾第 4 団	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信

No.	日付	内容	団体名	発信ツール
44	9 月 24 日	10/9(日)講演と無料相談会「今支え合って自分らしく生きる」	・ 登校拒否を克服する会八尾交流会	チラシから「つどいブログ」で発信
45	9 月 29 日	山本幼稚園跡地で何かが始まろうとしています！	・ 山本小学校区まちづくり協議会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
46	10 月 1 日	棉の収穫祭に参加して　～関係者と乃同窓会＆後継者づくりが話題に～	・ 特定非営利活動法人河内木綿藍染保存会 ・ 美園小学校区まちづくり協議会 ・ 特定非営利活動法人自然環境会議八尾 ・ 特定非営利活動法人八尾市観光ボランティアガイドの会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
47	10 月 2 日	【YIC 市民交流会】奈良であそぼう！イベントのお知らせ	・ YIC 市民交流会実行委員会	チラシから「つどいブログ」で発信
48	10 月 9 日	これで完了！まとめセミナー・表彰式・納税式【ジュニアエコノミーカレッジ】	・ ジュニアエコノミーカレッジ	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
49	10 月 14 日	団体からの寄稿【ふたごみつごママパパ交流会】開催しました	・ えだまめっこ wit さくらんぼキッズ	寄稿から「つどいブログ」「Twitter」で発信
50	10 月 14 日	【11 月 23 日(水)開催】ふたご・みつごママパパ交流会	・ えだまめっこ with さくらんぼキッズ	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
51	10 月 23 日	堤町ハロウィンイベント	・ 学生団体はちのじ	取材記録から「Instagram」のストーリーで発信
52	10 月 26 日	わんちゃん＆ねこちゃんイベント【延期後の開催のお知らせ】	・ 八尾ねこの会さくら	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
53	10 月 28 日	【10/30(日)開催！】山ねきマルシェが開催されます！！	・ 北高安中学校区まちづくり協議会	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
54	11 月 5 日	「熟年サークルなごみ」さんの折り紙展示会が開催されました！	・ 熟年サークルなごみ	取材記録から「つどいブログ」と「Twitter」で発信
55	11 月 5 日	「地域コミュニティカフェ yotteco」さんの子ども食堂にお邪魔しました！	・ 地域コミュニティカフェ yotteco	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
56	11 月 11 日	【12/18(日)開催イベント】Happy jaja Christmas Concert2022	・ Happy jaja Christmas クリスマスコンサート実行委員	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
57	11 月 11 日	【11/27(日)開催】「和ろうそくは、つなぐ」お話会	・ 八尾で絵の本広げよ会	チラシから「つどいブログ」「Twitter」「Instagram のストーリー」で発信
58	11 月 13 日	【11/18(金)19(土)】ひゅーまんフェスタ 2022 が開催されます！	・ 人権政策課	チラシから「つどいブログ」で発信
59	11 月 27 日	ちょっと、そこまで。	・ 学生団体はちのじ	取材記録から「Instagram のストーリー」で発信
60	12 月 1 日	シニア福祉推進講座(高齢者支援ネットワーク連絡会)	・ 高齢者支援ネットワーク連絡会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
61	12 月 9 日	フューチャリングアイデアソン～未来を創ろう～に参加しました！	・ 人権政策課	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
62	12 月 10 日	史跡由義寺跡体験フェスティバル 2022 におじゃましてきました！	・ 曙川東地区小地域ネットワーク推進委員会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
63	12 月 11 日	【1/8(日)開催】いかのぼり＆スター☆カイトをつくろう！	・ 八尾市国際交流センター	チラシから「つどいブログ」で発信
64	12 月 15 日	ふたご みつご ママパパ交流会	・ えだまめっこ with さくらんぼキッズ	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
65	12 月 23 日	【オンライン開催】産育休セミナーのお知らせ	・ 人権政策課	チラシから「つどいブログ」で発信

No.	日付	内容	団体名	発信ツール
66	12 月 24 日	いきいき家庭教育講演会「心豊かに生きる」11 月 27 日(日)	・ 家庭倫理の会　中河内	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
67	1 月 7 日	いきいき家庭教育講演会「心豊かに生きる｜11 月 27 日(日)	・ 一般社団法人倫理研究所	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
68	1 月 11 日	「和ろうそくは、つなぐ」お話会【その 1】	・ 八尾の絵の本ひろば広げよ会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
69	1 月 11 日	「和ろうそくは、つなぐ」お話会【その 2】	・ 八尾の絵の本ひろば広げよ会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
70	1 月 13 日	【毎月第 4 土曜日】茶吉庵にてやまんねきおはなし会が開催されます♪	・絵本のじかん ・おはなしばすけっと	チラシから「つどいブログ」で発信
71	1 月 13 日	【1/29(日)開催】河内音頭の基本の踊り【河内銀友会】	・ 河内銀友会	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
72	1 月 18 日	Happy jaja Christmas Concert 2022 in プリズムホール	・ Happy jaja Christmas クリスマスコンサート実行員会	取材記録から「つどいブログ」で発信
73	1 月 22 日	【ホームページ制作講座】にお邪魔させて頂きました～！	・ 曙川東まちづくり協議会	取材記録から「つどいブログ」で発信
74	1 月 28 日	ご案内 :【創作舞踊　翔の会】	・ 創作舞踊　翔の会	チラシから「つどいブログ」で発信
75	1 月 28 日	2/12(日)ゼロエネルギー住宅の内覧と電気自動車を見学しよう！	・ 八尾市ゼロカーボンシティやお推進協議会	チラシから「つどいブログ」で発信
76	1 月 29 日	【ご案内】: 木のぬくもりを感じよう。Let's DIY どうぞのいす	・ 八尾市環境保全課	チラシから「つどいブログ」で発信
77	2 月 3 日	ご案内 :【2/24(金)開催】ウクライナ支援コンサート「ウクライナに平和を」	・ 日本ウクライナ文化交流協会	チラシから「つどいブログ」で発信
78	2 月 5 日	【2 月 25 日開催！】なりたい自分になれるの？セミナー＆トークセッション	・ 八尾市役所人権政策課	チラシから「つどいブログ」「Twitter」「Instagram」で発信
79	2 月 11 日	〈八尾市からの素敵なイベントのお知らせ〉	・ 八尾市市役所人権政策課	チラシから「Instagram」で発信
80	2 月 11 日	ご縁をつなぎ、ささやかなコーディネートを①【仰天 60 年前の八尾のまち】	・ 特定非営利活動法人八尾すまいまちづくり研究会 ・ 八尾で絵の本ひろば広げよ会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
81	2 月 11 日	ご縁をつなぎ、ささやかなコーディネートを②【仰天 60 年前の八尾のまち】	・ 特定非営利活動法人八尾すまいまちづくり研究会 ・ 八尾で絵の本ひろば広げよ会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
82	2 月 16 日	【取材記録】: ヘバラギ	・ ヘバラギ	取材記録から「つどいブログ」で発信
83	2 月 22 日	第 35 回　「三楽会 水墨画展」のお知らせ	・ 三楽会	ハガキとポスターから「つどいブログ」で発信
84	2 月 26 日	【八尾市合唱協会】第 31 回合唱祭のお知らせ	・ 八尾市合唱協会	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
85	3 月 4 日	八尾図書館に活動記録を提供しよう！【地域郷土資料のご案内】	・ 八尾市立図書館	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
86	3 月 5 日	第 30 回こどもフェスティバル【講念仏踊りも発表】	・ 八尾市少年育成連絡協議会 ・ 曙川東まちづくり協議会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
87	3 月 8 日	【公式ドッジボール　親子体験会】のお知らせ	・ 高安ドッジボールクラブ	チラシから「つどいブログ」で発信

No.	日付	内容	団体名	発信ツール
88	3 月 8 日	小学校入学前親子イベントのお知らせ	・ 地域で子育て応援隊 ・ 西山本地区福祉委員会	チラシから「つどいブログ」で発信
89	3 月 8 日	3 年振りの開催「創作舞踊 翔の会」【ウクライナ支援避難所建設費用の寄附】	・ 創作舞踊　翔の会 ・ 日本ウクライナ文化協会	チラシ、取材記録から「つどいブログ」「Twitter」にて発信
90	3 月 10 日	イベント開催のお知らせ：【八尾です！来て来て来て～】	・ 城正会筋商店街 ・ 来て来て来て実行委員	チラシから「つどいブログ」で発信
91	3 月 10 日	イベント開催のお知らせ：【猫の里親譲渡会 in 八尾】	・ 八尾ねこの会さくら	チラシから「つどいブログ」「Twitter」にて発信
92	3 月 16 日	イベント開催のお知らせ：【春のおまつりフェア】	・ 八尾ねこの会さくら ・	チラシから「つどいブログ」「Twitter」にて発信
93	3 月 18 日	「トーキョーコーヒー」ってご存じですか？	・ アトリエ麓	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」にて発信
94	3 月 23 日	八尾北高校ビオトープ活動　16 年の活動に幕を閉じる！	・ 環境アニメイティッドやお	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」にて発信
95	3 月 26 日	「和ろうそくは、つなぐ」お話会【その 3：完了】	・ 八尾で絵の本ひろば広げよ会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」にて発信
96	3 月 26 日	来週の日曜は玉串川桜まつりフェア！🌸	・ 山本小学校区まちづくり協議会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」にて発信
97	3 月 29 日	在日外国人のための日本語教室【八尾市市民活動支援基金事業助成金】	・ 八尾学びの会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」にて発信

※ No.5 及び No.6 は出演及び演奏の様子を動画撮影し、Facebook で投稿・配信を実施。
※ No.17 は開催の様子を動画撮影し、Facebook で投稿・配信を実施。
※ 6 月 1 日に相談業務の対応として、八尾市国際交流センター主催「市民座談会」の広報を Facebook で実施協力した。

○ 助成金情報の発信(発信ツールの主は、ブログにて実施)

No.	月	名称	応募元
1	6 月	令和 4 年度市民活動支援基金事業助成金交付団体募集！	八尾市人権ふれあい部コミュニティ政策推進課
2	8 月	2023 年度　重い病気を抱える子どもの学び支援活動助成	公益財団法人ベネッセこども基金
3		2023 年度　環境市民活動助成募集のご案内	一般財団法人セブン-イレブン記念財団
4	9 月	第 33 回　コメリ緑資金	公益財団法人コメリ緑育成財団
5		子どもゆめ基金	国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金
6	10 月	近畿ろうきん NPO アワード	近畿ろうきん
7		2023 年度学生を対象とする次世代リーダーの育成活動に対する助成事業募集	公益財団法人電通育英会
8	11 月	第 18 回　積水ハウスマッチングプログラム	積水ハウス
9		2023 年度　経済的困難を抱える子どもの学び支援活動助成	公益財団法人ベネッセこども基金

・ 「令和 4 年度　八尾市市民活動支援基金事業助成金　公開プレゼンテーション」の取材を実施し、ブログにて情報発信を行った(取材日 7 月 17 日、ブログ投稿日 7 月 29 日)。(7 月)
・ 八尾市市民活動支援基金事業助成金について、これまで「つどい」では 10 年以上に渡り、「ニュースつどい」「つどいブログ」で取材記事を投稿して来た。取材を通じて、趣旨や目的、助成金事業として取り組まれた「つどい登録団体」の成功事例、市民活動団体による資金調達の方法等をまとめて来た。この間に得た情報や記事を集約したサイトを作成した。2 月につどいホームページ「つどいトピックス」で情報を提供する予定である。(1 月)
・ 「令和 4 年度八尾市市民活動支援基金事業助成金助成事業」で事業を行う 7 団体の内、3 団体の活動を取材し「つどいブログ」に掲載した記事をつどいホームページ「つどいトピックス」で情報提供を行った。(2 月)

○　各活動主体が必要としている情報提供(個別対応)

No.	月	情報提供及び概要	情報提供の内容
1	4 月	「やお地域まちづくりアドバイザー」の派遣制度について	・　八尾市が行っている「やお地域まちづくりアドバイザー」の派遣制度について、山本小学校区まちづくり協議会に情報提供した(4 月 21 日開催の「山本コミセンラウンドテーブル」で意見・提案をいただいている)。
2	6 月	「城正会　ちびっ子まつり」	・　6 月 12 日(日)旧近鉄八尾駅前商店街(城正会)で「城正会　ちびっ子まつり」の開催にあたり、主催者から「つどい」に広報依頼があった。 ・　主催者は web や SNS 上では広報を行うスキルをお持ちでなかったため、「つどい」が広報を支援した。 ・　結果、インターネット「号外 NET 八尾」にて、「つどいブログ」で掲載したものを「八尾市観光協会」が Facebook で掲載されたことで、広報・周知が広がり多くの来場者が来られた。広報支援で貢献した。
3	9 月	市民主体のまちづくりにおける現状と課題(高美まち協への参画者に向けて)	・　町会活動・自主防災組織への活動・校区まちづくり協議会への活動と地域活動に参画していく中で、市民主体のまちづくり及び校区まちづくり協議会について仕組みも含めて、わからなくなったと来館された。 ・　この数年間で調べて収集した情報を用語の定義も含め説明し、情報を提供した。
4		八尾の学校図書館を考える会	・　学校園に向けて行事開催ちらしの封入作業を「つどい」1 階のシェアスペースで実施された。その際、時間に間に合わせるため円滑に作業が出来るよう協力・支援を行った。
5	10 月	つどいとまち協の協働整理シートから年度内の取り組み事例紹介(山本コミセン管内ラウンドテーブル)	・　つどい業務 5.(1)②ウ【社会貢献活動に係るスキルアップの支援】としてまち協向けに携わってきた依頼内容とその成果をまとめた「つどいとまち協の協働整理シート(10 月末現在)」を提供。 ・　それぞれの課題に適した手法を用いて円滑な意見交換の場づくりやの議論内容の質の向上のための支援を実施しながら、まち協とつどいの協力体制の基盤強化を図っていきたい旨を改めてお伝えした。 ・　その際に、東山本小まち協ラウンドテーブルにおいて、事前に Zoom の操作方法のレクチャー支援を行ったことを提供資料に追加することを先方からご意見いただいた。 ※　詳細は提出した本資料参照。
6	11 月	町会運営アプリ「結ネット」のレクチャーの場を提供	・　10 月に開催した「つどい井戸端会議」でスマホアプリ「結ネット」について話題提供を行った。 ・　参加者の中から詳細を知りたいと希望されたため、高美町 5 丁目町会長から市議会議員に操作方法や使い方等のレクチャーの場を提供した。
7		「和ろうそくは、つなぐ」図解資料の作成及び提供	・　つどい登録団体「八尾で絵の本ひろば広げよ会」主催の「和ろうそくは、つなぐ」お話会が開催された。 ・　「和ろうそくは、つなぐ」の書籍と著者のお話に加え、物の循環・流れがわかる図解資料があると、和ろうそくにまつわる物の利活用・循環の流れがより理解しやすいと感じ、図解資料の作成及び提供を行った。 ・　趣旨と目的が参加者ひとりひとりに理解され、共感が深まり書籍を手に取られる方も多くおられた。 ・　情報・資料提供を通じて参加者・主催者・関係者の活動及び目的の支援に寄与することが出来た。
8		「フューチャリングアイデアソン」の申込方法についての提案	・　相談業務(相談 No.2022-076)で交流会の広報支援の依頼をお受けした。 ・　申込方法が担当課へのメールか電話のみで参加対象となる 20～30 代の方には参加ハードルを高めてしまう可能性があるとお伝えし、フォームを活用した電子申請システムの活用やその他の申込方法をご提案した。
9		出前事業や社会教育の講座等に関する情報提供	・　相談業務(相談 No.2022-069)で校長会へ墨絵(水墨画)の出前授業のご案内を学校教育推進課に共に相談に伺った。 ・　昨年度から広報・公民連携課で出前授業や社会教育に関する情報の取りまとめを行っていることから、上掲の課に連絡し橋渡し役として同伴し紹介を行った。 ・　提出する様式に基づき相談団体が作成した内容についてアドバイスを行い作成の支援も行った。

No.	月	情報提供及び概要	情報提供の内容
10	12 月	労働者協同組合に関する情報提供	・ 10 月 1 日から労働者協同組合法が施行され、特定非営利活動法人は施行から起算して 3 年以内に労働者協同組合に組織を変更することが出来るようになった。 ・ つどい登録団体「特定非営利活動法人 KARALIN」より問合せがあり、八尾市ホームページ掲載先の情報提供に加え、(社福)大阪ボランティア協会発行「ウォロ」に労働者協同組合の特集記事が掲載されていたので記事提供を行った。
11		市民活動団体行事出展物の提供(「仰天 60 年前の八尾のまち」)	・ 八尾市が主催し、つどい登録団体「特定非営利活動法人八尾すまいまちづくり研究会」が企画・運営された展示会「仰天 60 年前の八尾のまち」に展示されていた大信寺の太鼓楼の写真と光専寺近辺の写真を提供することが出来ることを大信寺と光専寺に情報提供した。 ・ 両寺院は当時の様子がわかる写真の記録がないことから写真提供を希望され「つどい」を通じて両寺院に写真を提供した。 ・ また大信寺には国土地理院のホームページに航空写真から年代別に敷地の様子を閲覧及びダウンロードが出来ることに加え、八尾図書館所蔵の「中河内郡誌」に大正時代の大信寺本堂の写真が掲載されていることを情報提供した。
12	1 月	相談業務で求める人財・内容の情報提供	・ 相談 No.2022-080 と相談 No.202-088 が双方でマッチングする可能性があることから、双方の顔合せを実施した。 ・ モデルロケット及びドローン体験会の実施者とドローンを体験する出展予定者の各立場において情報共有・情報交換を行った。
13		多角的福祉事業を目指す実行団体大募集！(休眠預金活用事業　実行団体募集)	・ つどい登録団体「一般社団法人 AN SHINH」は児童デイ等の事業を展開されており、様々な助成金を申請されている中、休眠預金活用事業について、情報を提供した。 ・ 応募の検討における情報提供ではなく、休眠預金活用事業が助成金として行われていることを認知いただきたく、情報を提供した。
14		【使い捨てカイロを送るプロジェクト】のご案内	・ 八尾市に所在する「日本ウクライナ文化交流協会」では【使い捨てカイロを送るプロジェクト】の実施と呼びかけをされている。 ・ 全国的には少しずつ協力の輪が広がりを見せているが、八尾市内では昨年 12 月に「つどい登録団体」が 1 団体のみ寄贈されて以来、広がりがなかった。 ・ 「つどい」として町会等にご案内を情報提供した(国際輸送は税関・戦地の状況により 1 ヶ月近く到着にかかるため、2 月上旬までの期間限定で情報提供を行った)。
15		今後の情報提供先としての顔合せ (高美町 5 丁目町会八尾市環境保全課)	・ 高美町 5 丁目町会では町会加入世帯・希望する町会未加入世帯に回覧板以外に情報伝達として、「結ネット」を導入し情報提供をしている。 ・ 市営住宅があった場所に新築の住宅が立ち並ぶ新しい町会として町会内の地域資源も把握しやすい環境にある。 ・ 八尾市環境保全課は昨秋まで北隣の清掃庁舎プレハブに所在していたが、八尾市リサイクルセンター学習プラザ「めぐる」に移転し、学習プラザ「めぐる」内での 3R・脱炭素・地域循環共生圏など多岐に渡る環境問題の情報提供及び体験会・講座等の行事企画と実施を行う事になった。広報面での情報提供先を必要をしている。 ・ 以上の事から、行政と地域が情報等のコミュニケーションを図る機会として、双方を紹介し初顔合わせを行い、情報交換を実施した。学習プラザ「めぐる」の行事開催情報の提供を行い、高美町 5 丁目町会の子育て世代に「結ネット」を通じた情報提供を行うことで町会参画につなげる等、今後、連携を図って行く予定である。

No.	月	情報提供及び概要	情報提供の内容
16	2 月	議事録作成から「Canva」の活用方法について(山本コミセン管内ラウンドテーブル)	・ ラウンドテーブルで話した内容の共有や他の方にも参加していただくために、議事録(東山本ラウンドテーブルの議事録の様なもの)を作成するのはどうかという提案があり、つどいが 12 月のラウンドテーブルの内容でたたき台を作成してみることになった。(12 月 16 日開催の「山本コミセン管内ラウンドテーブル」で意見・提案をいただいている)。 ・ 議事録のたたき台を「Canva」を活用して作成し、目を通してもらいやすいチラシやフリーペーパーの作成を初心者でも作れるアプリとして情報提供を行った。 ・ また、ご依頼があれば「Canva」の操作方法のレクチャーも行えることも合わせて情報提供を行った。
17		今後の連携先としてのご紹介・顔合わせ	・ 八尾市環境保全課は、八尾市リサイクルセンター学習プラザ「めぐる」での環境に関する情報提供及び体験会・講座等の行事企画と実施を行うことになった。 ・ 「つどい」では以前から㈱MIRAI が行うモデルロケット＆ドローン体験会への取材でつながっている。 ・ モデルロケットの素材は、恩智で栽培されている枝豆の廃棄される茎や葉をバイオプラスチックとして活用している。 ・ 今後、協働・連携によるモデルロケット体験会等の企画が促進されるきっかけとしてご紹介を行った。

○ 各活動主体が必要としている情報提供(八尾市市民活動支援基金事業助成金)(6 月)

- つどい登録団体 266 団体に募集チラシを送付した。
- 内 93 団体には、6 月 2,4,8 日に 90 通郵送等を行った。
- 6 月 4 日に 192 団体へ電子メールに募集チラシを送付(内 21 団体が不達のため上記の通り郵送にて再送)。
- 上記は委託元からの依頼により、代行にて情報提供を実施。
- 結果、つどい登録団体からは 3 団体が応募することになった。

○ 各活動主体が必要としている情報提供(八尾市市民活動支援基金事業助成金)(3 月)

- つどい登録団体 275 団体に募集チラシの送付をメールで実施した(メールの送付方法がない団体は 4 月初旬に郵送を行う予定)。
- 3 月 29 日に 184 団体へ電子メールに募集チラシを送付(内 18 団体が不達のため上記の通り 4 月初旬に郵送にて再送)。
- 上記は委託元からの依頼により、代行にて情報提供を実施。

○ つどいホームページ「つどい登録団体紹介ページ」の更新(7 月)

- 取材や開催案内等でブログの記事に投稿した分を「つどい登録団体紹介ページ」の各団体ページ「つどい登録記事」に PDF 化した投稿記事を閲覧出来るようリンクの貼り付けを行い、更新した。

○ 「つどいパンフレット」追加印刷(3 月)

- 2018 年度に完成した「つどいパンフレット」は、初版第 1 刷目は 1000 部印刷した。以後、毎回 500 部をこれまで 8 刷、合計 4,500 部を印刷し配架を行って来た。
- 昨年度に、細部の詳細の修正・改定を行い第 2 版第 1 刷目として 500 部を追加印刷したが、在庫が底をついたため、第 2 刷目として 500 部印刷した。5 ヵ年度で累計 5,500 部を印刷したことになる。

○　八尾市こどもサイト「あつまれ八尾っ子！！」イベントカレンダー

5月掲載分	0件	6月掲載分	1件	7月掲載分	0件	8月掲載分	0件
9月掲載分	0件	10月掲載分	4件	11月掲載分	0件	12月掲載分	0件
1月掲載分	1件	2月掲載分	1件	3月掲載分	1件	4月掲載分	1件

○　ホームページ訪問者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	1574	1887	1808	1671	1562	2252	2018	1874	1528	1432	2611	2184	22401
2021年度	1526	1909	2089	2040	1686	1776	2002	2115	1734	1671	1502	1829	21879
2020年度	1044	1469	1653	1500	1701	1751	2154	2302	1673	2092	2336	1989	21664

○　ブログ訪問者数・閲覧数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問者数	2022年度	4955	6356	6363	7393	7455	6897	6583	6343	6606	6735	6280	7143	79109
	2021年度	4922	4997	6870	3957	4666	4965	5139	4435	5206	4937	5633	5813	61540
	2020年度	6735	8156	7006	6526	9086	6465	7798	7023	6367	6116	4216	6223	81717
閲覧数	2022年度	8267	11039	10200	12822	13748	12233	11058	10995	11155	12266	12173	11652	137608
	2021年度	7951	7412	13407	7480	7081	7756	7834	6408	8260	8346	9064	9621	100620
	2020年度	12165	13784	12734	11652	16739	10204	15280	12900	10972	11404	8291	10711	146836

②社会貢献活動等の支援業務

【ア】　社会貢献活動に関する相談

○　相談記録(相談場所を「つどい」で実施した専門家相談及び「つどい」スタッフによる一般相談)

No.	日付	リピーター	相談内容	活動主体	相談内容
1	4月1日	●	レクチャー	市民活動団体	インターネットに掲載された届出をダウンロードしたいが、やり方が分からないので教えてほしい。(届出名：第二種動物取扱業届出書及び犬・猫飼養届出書)
2	4月5日	●	紹介・提案	事業者	河内木綿のタネを譲ってくださる団体があれば紹介してほしい。
3	4月10日		レクチャー	地域活動団体	八尾小学校が開校から今年で150周年になる。開校150周年記念として実行委員会形式で立ち上げたいが、来年度以降も団体を存続するならばNPO法人化も検討したいので、アドバイスがほしい。また、協賛・寄附を集めた際の税の取扱いもわかれば教えてほしい。
4	4月16日		紹介・提案	市民	「Yao mania」のバックナンバーが欲しいのでどこに尋ねたら良いか教えてほしい。また、「ニュース　つどい」で掲載されていた「八尾なんやかや」が冊子になったことを知ったのでどこで手に入るのかも教えてほしい。
5	4月16日	●	レクチャー	市民活動団体	団体で広報を行う際に、つどいの電話番号を問合せ先としてつなげていただく事は可能なのか教えてほしい。また、出来ない場合はどの様に対応すれば良いかも教えてほしい。
6	4月17日	●	レクチャー	市民	NPO 法人を立ち上げたいのだが、どのようなものなのか教えてほしい。
7	4月20日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「やお聞き書きの会」に依頼がしたいので紹介してほしい。
8	4月21日		紹介・提案	市民	疼痛を抱える方が集える居場所づくりを行いたいが方法が分からない。その様な団体があるのかや、始めるにあたって何からすれば良いか教えてほしい。
9	4月22日		紹介・提案	市民	ヨガのインストラクターとして活動している。活動場所とつながりを広げたいので紹介してほしい。
10	4月27日	●	紹介・提案	地域活動団体	堤町集会所の改修にあたって、新しい取り組みを考えていきたいのでアドバイスが欲しい。

No.	日付	リピーター	相談内容	活動主体	相談内容
11	4月27日	●	紹介・提案	地域活動団体	グラウンドゴルフ大会のポスターを作成してくれる方や団体がいれば紹介してほしい。
12	4月28日		紹介・提案	教育機関	「河内の戦争遺跡を語る会」を紹介してほしい。
13	5月4日	●	紹介・提案	事業者	映像撮影やカメラ技術のある団体があれば、紹介してほしい。
14	5月6日		紹介・提案	市民活動団体	城正会商店街でちびっこまつりを開催する。主催者が出展する「輪投げ」「スーパーボールすくい」「ミルクせんべい」「たこせんべい」の出展のお手伝いをしていただけるボランティアさんがいれば紹介してほしい。
15	5月13日		紹介・提案	市民活動団体	活動場所に猫が住み着いてしまい困っている。相談したいのでつどい登録団体「八尾ねこの会　さくら」を紹介してほしい。
16	5月13日	●	レクチャー	地域活動団体	マンションの掲示板に自治会や子ども会に関するポスター等を掲示している。今回、近隣の内科主催の健康に関する掲示物の掲示依頼があった。自治会として今後の対応も含めて掲示して良いか判断に困っている。判断基準があれば教えてほしい。
17	5月21日	●	紹介・提案	事業者	結婚式の司会を行うことになり、会場づくりも携わる事になった。オードブルを置く机が無いため、机をお貸しいただける方がいれば紹介してほしい。
18	5月25日		紹介・提案	公共施設	行事開催で後援名義があればコミセンの部屋の貸出を対応出来るのだが、主催者が勘違いして講演の専用利用を行うと隣接のコミセンの部屋が利用出来ると思われ、開催チラシにもコミセンの場所が開催場所として掲載された。公園のみで開催が出来る様にアイデアや知恵等で支援してもらえないか。
19	5月27日		紹介・提案	事業者	つどい登録団体で人形劇を行っている団体に出演依頼を行いたいので紹介してほしい。
20	5月27日		紹介・提案	事業者	自身が行っているカフェで子ども食堂を始めたいのでアドバイスが欲しい。
21	6月1日	●	紹介・提案	公共施設	市民座談会を開催するのだが、参加者が少ないため広報支援をお願いしたい。
22	6月1日	●	紹介・提案	市民活動団体	市民活動支援基金事業助成金について教えてほしい。
23	6月2日		紹介・提案	市民	八尾のまちの特徴、市民活動の現状や課題を教えてほしい。
24	6月2日	●	紹介・提案	地域活動団体	美園地区での敬老祝寿祭で出展できる団体があれば、教えてほしい。
25	6月2日		紹介・提案	地域活動団体	美園小学校の放課後教室で協力してもらえる団体があれば、紹介してほしい。
26	6月4日		紹介・提案	市民活動団体	猫の虐待や殺害等、動物愛護として法律に違反している案件があった場合、警察とも連携を取りたい。どこに相談すれば良いか教えてほしい。
27	6月8日		紹介・提案	行政	「防災リーダー養成講習」で若年層や子育て世代の方々に新しく参加してもらいたいと考えている。ご紹介いただけないか。
28	6月9日	●	紹介・提案	市民活動団体	「市民活動支援基金事業助成金」の応募を検討したが、物品購入が一万円以下のため、アンプとスピーカーが購入出来ない。どこが購入する方法などあれば紹介してほしい。
29	6月9日	●	紹介・提案	地域活動団体	夏休みの期間中に工作のイベントを開催したいので、以前紹介していただいた団体を再度紹介してほしい。
30	6月9日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「見張り番八尾」に依頼したいので紹介してほしい。
31	6月12日		紹介・提案	市民	幼児と関わることが出来るボランティアを探しているので紹介してほしい。

No.	日付	リピーター	相談内容	活動主体	相談内容
32	6月19日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「八尾手話サークル　みどり」を紹介してほしい。
33	6月19日	●	紹介・提案	市民	ウクレレを教えている団体があれば紹介してほしい。
34	6月24日		紹介・提案	地域活動団体	盆踊りや子ども向けの行事を行うにあたってアンプやスピーカー、プロジェクターをお借りできる団体を探しているので紹介してほしい。
35	6月24日		紹介・提案	地域活動団体	子ども向けの工作ブースを出すが、何を作るブースにするか悩んでいる。アドバイスをいただけないか。
36	6月26日		紹介・提案	事業者	清掃のボランティアに参加しながら地域の方と交流も出来るような団体や活動を探しているので紹介してほしい。
37	6月29日		紹介・提案	公共施設	つどい登録団体「河内の戦争遺跡を語る会」を紹介してほしい。
38	6月30日	●	紹介・提案	地域活動団体	同じ町会にお住まいの方で、家がごみ屋敷になっている。自分だけでは助けることが出来ないので、どこに相談すればよいか教えてほしい。
39	7月2日		紹介・提案	市民	猫の保護活動を行っている団体があれば紹介してほしい。
40	7月7日		紹介・提案	その他	子ども達の貧困に対して取り組む団体や情報があれば教えてほしい。
41	7月9日		紹介・提案	事業者	難病支援へ寄附を行いたいのだが、八尾で法人格のある団体があれば紹介してほしい。
42	7月14日		紹介・提案	行政	山本コミュニティセンターの改修工事にあたりガバメントクラウドファンディングを実施し、そのお礼品としてネームプレートや手形造形を検討している。詳しい方がいれば紹介してほしい。
43	7月20日	●	紹介・提案	事業者	今の事業活動とは別に社会貢献として別の団体で宿泊等も含めた子どもの居場所づくりを考えている。 活動先に加え団体を立ち上げ時に NPO 法人化も検討しているので合わせて教えてほしい。
44	7月20日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「起立性調節障害(OD)家族の会～Snow～」を紹介してほしい。
45	7月20日		紹介・提案	事業者	掩体壕の撮影許可をもらうために、地主さんを知っていたら教えてほしい。
46	7月21日		紹介・提案	行政	つどい登録団体「高安城を探る会」の最近の活動情報知りたいのでつなげてほしい。
47	7月23日	●	紹介・提案	市民	校区まちづくり協議会のホームページのリンクを八尾市のホームページに掲載するにはどうすれば良いか教えてほしい。
48	7月23日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「八尾市アマチュア無線非常通信連絡会」に連絡を取りたいので連絡先を教えてほしい。また、コールサイン(無線局の呼び出し符号)も教えてほしい。
49	7月23日	●	紹介・提案	市民活動団体	久宝寺小学校区まちづくり協議会のホームページを管理されている方を知っていればご紹介してほしい。 (相談№2022-047 の関連)
50	7月26日		紹介・提案	事業者	顧客が住宅(空家)を相続される予定である。空家を社会貢献として活用できればと考えているが、リノベーション等に取り組む方がいれば紹介してほしい。また、八尾市でも何か施設等があれば紹介してほしい。
51	7月29日		紹介・提案	事業者	ジュニアエコノミーカレッジで 9 月 11 日(日)に実践販売を行うが、集客のための広報の方法があれば教えてほしい。
52	8月3日		紹介・提案	市民	ウクレレを行っている団体があれば教えてほしい。
53	8月10日		紹介・提案	事業者	小売市場の空き店舗を活用して毎月マルシェを行っている。集客方法やマルシェ・居場所づくりの事例があれば教えてほしい。

No.	日付	リピーター	相談内容	活動主体	相談内容
54	8 月 17 日		紹介・提案	事業者	つどい登録団体「ベトナム八尾流交流会」とつながりたいので紹介してほしい。
55	8 月 17 日	●	紹介・提案	市民	子どもが魚に興味があり、活動先があれば教えてほしい。
56	8 月 25 日	●	紹介・提案	地域活動団体	web 上のアンケートを作成しようと思っているが、ゲーム感覚で出来るアンケートを検討している。 その様なサービスを行っている団体や会社を知っていれば教えてほしい。
57	9 月 1 日	●	紹介・提案	教育機関	学園祭を開催するにあたり、近隣の企業協賛をお願いしたいと考えている。竹渕にある「不易糊工業株式会社」を紹介してもらうことは可能か。
58	9 月 1 日	●	紹介・提案	地域活動団体	団体でホームページを開設しようと考えている。相談に乗ってもらえる様な団体があれば紹介してほしい。
59	9 月 2 日		紹介・提案	市民	いじめ問題の支援を行っている団体を紹介してほしい。(記録漏れ：2022/06/10 対応)
60	9 月 4 日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「八尾山の会」に興味を持ち、話をお聞きしたいので紹介してほしい。
61	9 月 9 日	●	レクチャー	地域活動団体	Zoom の操作で不安な箇所があるので教えてほしい。
62	9 月 11 日		紹介・提案	市民	これから活動を始めるにあたって何から始めればいいかわからないので、教えてほしい。
63	9 月 16 日	●	紹介・提案	行政	グラフィックレコーディングの依頼を行いたいのだが、実施されている方を紹介してほしい。
64	9 月 23 日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「八尾和太鼓サークル　楽鼓」を紹介してほしい。
65	9 月 25 日	●	レクチャー	市民活動団体	パンフレットを印刷するのに「プリントパック」での発注・入稿についてレクチャーをお願いしたい。
66	9 月 25 日		レクチャー	市民活動団体	コロナ禍ではあるが、常光寺で開催を予定していた「八尾いち」を 3 年越しで初めて開催をしたいので何かアドバイスをいただけないか。
67	9 月 29 日		紹介・提案	地域活動団体	つどい登録団体「八尾市ディスコン協会」に問合せしたいので紹介してほしい。
68	10 月 13 日		紹介・提案	市民	卒業論文で断酒について取り上げる。ついてはつどい登録団体「八尾市断酒会」の活動に訪問し、お話をお聴きしたいので紹介してほしい。
69	10 月 13 日		紹介・提案	市民活動団体	水墨画を小学校へ出前授業を行い社会貢献を行いたいのだが、どのように行えば良い分からないので教えてほしい。
70	10 月 14 日		紹介・提案	市民活動団体	これまでつどい登録団体「写楽のつどい」で活動していた頃の写真があれば提供してほしい。
71	10 月 22 日		紹介・提案	市民活動団体	障がいをお持ちの方中心に「コミュニティと憩いの場」を提供していく事業を行っている。今後この活動をもっと八尾の方に知っていただきたいのでちらしのレイアウトについてのアドバイスや配架依頼できる場所を教えてほしい。
72	10 月 26 日	●	紹介・提案	行政	「つどい井戸端会議」でスマホアプリを使って町会運営をサポートする「結ネット」について話題提供されていた方にお会いして、「結ネット」について学習したいので紹介していただきたい。
73	10 月 28 日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「八尾柏原精神障害者福祉を考える市民の会(通称　きゃらふるやおかし)」の連絡先を教えてほしい。
74	11 月 3 日	●	紹介・提案	地域活動団体	野良猫を引き取り飼っている方から、猫のえさ代を支援している所が無いか尋ねられた。どこかその様な団体があれば教えてほしい。
75	11 月 8 日	●	紹介・提案	事業者	八尾で田んぼが出来るところを探しているので、貸していただける田んぼがあれば教えてほしい。
76	11 月 9 日	●	紹介・提案	行政	来年 2/25 にセミナーを開催するにあたり、12 月 6 にセミナーの企画について話合う意見交換会を開催する。18 歳～35 歳までが対象なので参加される方や広報等、協力いただける方を紹介してほしい。

No.	日付	リピーター	相談内容	活動主体	相談内容
77	11月10日	●	紹介・提案	市民活動団体	墨絵(水墨画)の作品展を行いたいので、場所があれば紹介してほしい。
78	11月23日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「ウクレレハウス」を紹介してほしい。
79	12月2日	●	紹介・提案	市民活動団体	お話会に話題提供者としてリモートでつどいスタッフに出演してほしい。
80	12月3日	●	紹介・提案	事業者	イベントで当日お手伝いいただける方がいれば紹介してほしい。また、今後イベントを含めて、事業に携わってもらえる方がいれば紹介してほしい。
81	12月7日		紹介・提案	市民	傾聴ボランティアが出来る団体を探しているので教えてほしい。
82	12月14日	●	レクチャー	地域活動団体	アンケートを作成途中なのだが、紙媒体とフォームの2種類とも操作が不安な部分があるので教えてほしい。
83	12月14日	●	紹介・提案	市民活動団体	主催行事に講師としてきてくださる方を探しているので、誰か紹介してほしい。
84	12月15日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「おはなしばすけっと」を紹介してほしい。
85	12月17日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「八尾手話サークルみどり」に問合せしたいので紹介してほしい。
86	12月22日		紹介・提案	教育機関	野外活動(郊外での現地活動)や出前講座で来ていただける団体があれば紹介してほしい。
87	12月22日	●	紹介・提案	市民活動団体	団体の活動で行っている「命の教室」を八尾市の学校園でも行いたいと考えているので、問合せ先を教えてほしい。
88	12月23日		紹介・提案	市民活動団体	イベントでドローン体験のブースを出展するので机やテント等を借りる所があれば紹介してほしい。また、ドローン関係で取り組む方がいれば紹介してほしい。
89	12月28日	●	レクチャー	市民活動団体	人を雇用する手続きについて教えてほしい。
90	12月28日		紹介・提案	教育機関	つどい登録団体「八尾の助産師の会」をご紹介してほしい。
91	1月4日		レクチャー	市民活動団体	NPO法人格の設立申請を行いたいので、提出書類を見ていただきたい。
92	1月5日		紹介・提案	市民活動団体	ガイドツアー等を紹介する旅行体験情報サイトに掲載・紹介してもらうことになったが利用規約等の内容が理解できないので教えていただける方を紹介してほしい。
93	1月6日		紹介・提案	地域活動団体	防災訓練でのブースを出展して下さる団体がいれば紹介してほしい。
94	1月7日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「八尾読み聞かせの会」を紹介してほしい。
95	1月11日		紹介・提案	事業者	つどい登録団体「やお聞き書きの会」を紹介してほしい。
96	1月18日	●	レクチャー	市民活動団体	寄附を受けるにあたり、寄附をされる方から寄附金受領証明書を発行してほしいと言われた。発行することは可能なのか教えてほしい。
97	1月20日		紹介・提案	事業者	命のおはなし(性教育を含めた)をお話してもらう団体としてつどい登録団体「八尾の助産師の会」をご紹介してほしい。
98	1月21日		紹介・提案	市民	大信寺での河内音頭の練習会はどなたが行っているのか教えてほしい。
99	1月22日		紹介・提案	地域活動団体	ホームページを立ち上げたが、検索してもヒットしないので解決方法があれば教えてほしい。八尾市のホームページにも紹介ページに掲載してほしいので方法を教えてほしい。
100	1月25日		紹介・提案	教育機関	つどい登録団体「八尾の助産師の会」を紹介してほしい。

No.	日付	リピーター	相談内容	活動主体	相談内容
101	1月27日		紹介・提案	事業者	つどい登録団体「八尾市合唱協会」の連絡先を教えてほしい。
102	1月27日	●	レクチャー	市民活動団体	屋外イベントを企画することになった。何かマニュアルやノウハウ等をまとめたものがあれば提供していただきたい。
103	1月29日	●	レクチャー	市民活動団体	Canva の QR コードの貼り方を教えてほしい。
104	2月9日		紹介・提案	事業者	つどい登録団体「起立性調節障害(OD)家族の会～Snow～」を紹介してほしい。
105	2月9日		紹介・提案	事業者	つどい登録団体「やお聞き書きの会」に問合せしたいので紹介してほしい。
106	2月9日	●	紹介・提案	市民活動団体	会議を行える会場を探している。どこかないか教えてほしい。
107	2月9日	●	レクチャー	市民	プリントパックの入稿方法、見積書の作成方法をレクチャーしてほしい。
108	2月9日	●	レクチャー	市民活動団体	イベントを共同で立ち上げようと考えていたが、協働(コラボ)が難しいため立ち上げを実施すべきか、やめるべきかご意見やアドバイスをお聞きしたい。
109	2月9日	●	紹介・提案	市民活動団体	大人のドッジボール大会を企画・開催をしたい。アドバイスやアイデアがあれば教えてほしい。
110	2月10日	●	紹介・提案	市民	自宅の家具(机)を利活用していただける方がいれば紹介してほしい。
111	2月10日	●	紹介・提案	市民	知人の叔父さんの母が住まれていた場所を探している。詳しい情報をお持ちであれば教えてほしい。
112	2月10日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「やお聞き書きの会」に問合せしたいので紹介してほしい。
113	2月15日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「高安ドッジボールクラブ」を紹介してほしい。
114	2月17日		紹介・提案	市民	子どもに関わる活動に参加したいと考えているので、紹介してほしい。
115	2月22日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「八尾心理カウンセリングの会」と「comfort≪コンフォート≫」について教えてほしいのこと。
116	2月24日		紹介・提案	事業者	つどい登録団体「犬の家　アッシュ・ヴィー」を紹介してほしい。
117	3月1日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「ウクレレ・ハウス」を紹介してほしい。
118	3月2日		紹介・提案	市民	ウクレレの演奏やその練習が出来るウクレレ教室を知ったので教えてほしい。
119	3月2日	●	紹介・提案	市民活動団体	ウクライナ支援として避難所建設費用の寄附を行事開催時に募りたい。出来る方法があれば提示してほしい。
120	3月8日		紹介・提案	市民	スポーツが出来る施設を探しているので場所を教えてほしい。
121	3月9日	●	紹介・提案	地域活動団体	4月2日にイベントを開催するにあたり、植木鉢にお絵かきをした団体の出展を見たことがあり、出展もしくは植木鉢を提供してほしいので連絡先を教えてほしい。
122	3月9日	●	紹介・提案	市民活動団体	久宝寺小学校区まちづくり協議会の web を作成している方を紹介してほしい。
123	3月10日	●	紹介・提案	市民活動団体	自分の人生も含めて、自分の取り巻く環境(飼っていた犬・猫)を記録にまとめたい。何かまとめる方法や協力者がいれば紹介してほしい。
124	3月10日	●	紹介・提案	市民活動団体	中学生が出来るボランティアがあれば紹介してほしい。
125	3月15日		紹介・提案	市民	トルコ地震の寄附を募りたいのだが、寄附箱を設置してくれる方がいれば紹介してほしい。

No.	日付	リピーター	相談内容	活動主体	相談内容
126	3 月 15 日	●	レクチャー	市民活動団体	法務局に提出する変更登記申請書(登記の事由：理事の変更)について書き方を教えてほしい。
127	3 月 16 日		助成金対応	市民活動団体	助成金の応募を考えているので教えてほしい。
128	3 月 17 日	●	紹介・提案	市民活動団体	「公式ドッジボール親子体験会」を開催する。まだ定員まで若干の余裕があるので、広報先があれば紹介してほしい。
129	3 月 19 日	●	紹介・提案	市民活動団体	講演会や式典等で来賓の方に付けていただくリボンをお借りできる場所を探している。つどいから借りる事は出来るだろうか。
130	3 月 22 日		紹介・提案	市民活動団体	読み聞かせの団体を紹介してほしい。
131	3 月 31 日		紹介・提案	地域活動団体	子ども会が休止すると連絡をもらいとても驚いている。どうすれば継続できるかアドバイスがあれば教えてほしい。

○　相談内容・相談者の活動主体・相談分類

月別小計	相談内容				活動主体								相談分類		
	紹介・提案	レクチャー	助成金対応	その他	市民	市民活動団体	地域活動団体	行政	公共施設	事業者	教育機関	その他	設立相談	運営相談	NPO法人以外の相談
4 月	8	4	0	0	5	2	3	0	0	1	1	0	1	0	11
5 月	7	1	0	0	0	2	1	0	1	4	0	0	0	0	8
6 月	18	0	0	0	5	3	6	1	2	1	0	0	0	0	18
7 月	13	0	0	0	4	1	0	2	0	5	0	1	0	0	13
8 月	5	0	0	0	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	5
9 月	8	3	0	0	4	2	3	1	0	0	1	0	0	0	11
10 月	6	0	0	0	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	6
11 月	5	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	5
12 月	10	2	0	0	3	5	1	0	0	1	2	0	0	1	11
1 月	9	4	0	0	2	5	2	0	0	3	1	0	1	1	11
2 月	11	2	0	0	7	3	0	0	0	3	0	0	0	0	13
3 月	13	1	1	0	4	9	2	0	0	0	0	0	0	0	15
小計①	113	17	1	0	39	36	20	6	3	21	5	1	2	2	127
合計②	131				131								131		
①　/②(%)	86.3	13.0	0.8	0.0	29.8	27.5	15.3	4.6	2.3	16.0	3.8	0.8	1.5	1.5	96.9

※ 相談件数は、131 件です。
※ 四捨五入のため、合計のパーセントが 100%にならない場合があります。

○　NPO 法人設立相談(2020 年度相談対応分)(5 月)

・　2021(令和 3)年 2 月 3 日に相談があった「World　Seed」(つどい登録団体)の NPO 法人設立について、1 年以上振りになる 5 月 20 日に再度相談があり、書類の内容確認を行い対応。

【イ　校区まちづくり協議会活動の効果検証支援】

○　高安西小学校区まちづくり協議会(8 月)

No.	支援に至った経緯	支援方法	効果	効果が見られた場所：様子
1	わがまち推進計画の作成や活動のリニューアル、意見を言いやすい環境づくりをしたいと考えておられ手法を探されていた。	ワークショップ開催までの準備段階から当日の進行までのサポート	・　会長以外の方(総務部会の方等)の活躍の機会を作ることが出来、主体的な活動意識の向上に繋がった。 ・　子育て世代の活動の機会をつくる必要性を実際に行ってみることで再度実感されて、他の場面でも誰でも参加できるような方法(日時や子ども連れ可能等)を優先的に検討されるようになった。	・　第二回高安まち協 WS に向けた打合せ(4 月 30 日)：開催日時の検討をされている際に、自然と子ども連れでも可能である事と日時を子育て世代に合わせて考えるような発言や提案をされていた。 ・　山本コミセンラウンドテーブル(8/26)：校区内の子育て世代の方にも参加してもらうために、定例の日時の変更を提案されていた。

【ウ】　社会貢献活動に係るスキルアップの支援

○　講師派遣・各種開催記録

No.	日付	開催内容	開催場所	人数
1	5 月 25 日	八尾小学校区まちづくり協議会 Google フォーム研修 ・　役員会の前半 1 時間で回答、結果の分析、作成、共有の方法を実践型で説明。 ・　結果の分析では、八尾小まち協のわがまち推進計画の目標を基に、ワークショップを実施。	八尾小学校区集会所	14 名
2 3 4 5	6 月 3 日 7 月 1 日 8 月 31 日 9 月 2 日	安中人権コミュニティセンター主催就労支援 Zoom 講座(今年度 6 月から毎月第一金曜定例開催) ・　メリットデメリットや準備物について説明。 ・　実際に Zoom を使用して参加者側と開催側の操作方法を体験。 ※8 月 5 日は大雨警報の発令に伴い、左記の日程に振替開催。	安中人権コミュニティセンター	6 月：3 名 7 月：4 名 8 月：4 名 9 月：4 名
6	6 月 19 日	高安西小学校区まちづくり協議会まちづくりワークショップ ・　わがまち推進計画の作成や活動のリニューアル、意見を言いやすい環境づくりを目的にワークショップを開催。 ・　ワークショップ開催までの準備段階から当日の進行までのサポート依頼を引き受けた。	高安西小学校区集会所	32 名
7	6 月 22 日	まち協向け Twitter 研修 ・　まち協で SNS(Twitter)を活用した情報発信のきっかけにしていただくことを目的に開催され、つどいから 2 名が講師役として参加。 ・　Twitter の概要を口頭で説明後、実際に各まち協のアカウントを作成、実際の操作を実践型で説明。 ・　コミスタと協力してレクチャーを行うために、6 月 1 日にコミスタ向けに講座と同内容の研修を行い、内容のブラッシュアップと当日のイメージ共有を実施。	八尾市水道局	11 名
8	7 月 23 日	山本小学校区まちづくり協議会まちづくりワークショップ(当日に内容の変更を実施) ・　意見の言いやすい環境づくりを取り組んでいくための最初の取り組みとしてワークショップを開催。 ・　ワークショップ開催までの準備段階から当日の進行までのサポート依頼を引き受けた。 ・　しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響からか参加人数が芳しくなかったため、集まっていただいた方にワークショップの内容のブラッシュアップとグラフィックレコーディングの体験を実施。	山本小学校	3 名

No.	日付	開催内容	開催場所	人数
9 10	8月3日 9月25日	つどいの学習座談会 ・　「養育里親＝はぐくみホーム」を2回連続で開催。 ・　9月25日開催分はインターンシップ生のインターンカリキュラムとスタッフの内部研修も兼ねて開催。	センター「つどい」	8月：4名 9月：10名
11	9月9日	東山本小まち協ラウンドテーブルのオンライン併用開催にあたっての操作レクチャー支援(相談№2022-061) ・　Zoom を用いた対面とオンラインの併用開催のお試し体験を行いたいと考えておられ、当日に必要になる操作を実際に行いながら説明、レクチャーを実施。	センター「つどい」	1名
12	9月10日	南高安小学校区まちづくり協議会まちづくりワークショップ ・　わがまち推進計画の作成や活動のリニューアル、意見を言いやすい環境づくりを目的にワークショップを開催。 ・　ワークショップ開催までの準備段階から当日の進行までのサポート依頼を引き受けた。	南高安コミュニティセンター	23名
13	11月8日	東山本小学校児童会に向けたワークショップ型インタビューの補助 ・　わがまち推進計画の作成にあたり、東山本小学校の児童会の子どもたちにインタビューを実施。 ・　より沢山の意見を収集し今後の活動に反映させるため、子どもたちが意見を言いやすい空気づくりの補助を実施。	東山本小学校	9名
14	11月11日	曙川小学校区まちづくり協議会まちづくりワークショップ ・　わがまち推進計画の作成や活動のリニューアル、全世代意見を言いやすい環境づくりを目的にワークショップを開催。 ・　ワークショップ開催までの準備段階から当日の進行までのサポート依頼を引き受けた。	曙川コミュニティセンター	11名
15	12月1日	高美小学校6年生に向けたワークショップでのファシリテーション補助 ・　わがまち推進計画の作成にあたり、高美小学校の 6 年生へ向けた（計 67 名)にワークショップを授業の時間を用いて実施。 ・　全体進行はやお地域まちづくりアドバイザーの方が行い、「つどい」としては各グループに担当されたファシリテーターの方(まち協の方 5 名)のサポートを実施。	高美小学校	72名 ※支援を行ったまち協の方を含めた人数。
16	12月3日	八尾小学校区まちづくり協議会まちづくりワークショップ ・　わがまち推進計画の作成や活動のリニューアル、幅広い年齢層が参加しやすい環境づくりを目的にワークショップを開催。 ・　ワークショップ開催までの準備段階から当日の進行までのサポート依頼を引き受けた。	八尾小学校区集会所	22名
17	12月14日	東山本小学校区まちづくり協議会地域住民アンケート作成にあたってのアドバイス支援と操作レクチャー支援(相談№2022-082) ・　わがまち推進計画策定に向けた地域住民アンケートを紙媒体とフォームの2種類で実施。 ・　紙媒体のものは、より読みやすくするためにレイアウトについてのアドバイスを、フォームのものは、フォーム作成から QR コード作成までの操作方法に不安が残り相談に来られた。 ・　当日にアドバイスと必要になる操作を実際に行いながら説明、レクチャーを実施。	センター「つどい」	1名

No.	日付	開催内容	開催場所	人数
18	2 月 15 日	あ～いあいひろば LGBTQ に関するお話会(相談№2022-079) ・ つどい学生スタッフが「LGBTQ」について卒業論文を作成していることを知り、お話会の話題提供者として出演してほしいという依頼を受けた。 ・ 卒業論文の概要や大阪府での同性パートナーシップ制度の取り組み内容について、あ～いあいひろばのアドバイザーを対象に座談会を実施。	センター「つどい」	6 名
年間開催回数：18 回				234 名

○ 高安西小学校区まちづくり協議会 まちづくりワークショップ開催へ向けた支援(9 月)

- わがまち推進計画の作成にあたって防災アドバイザーの方をお呼びしたワークショップを開催された(9/18 に開催)。
- ワークショップ開催中における現地支援ではなく、事前に進行を行う方へのアドバイスや当日のプログラム作成の支援を行った。この支援は、主催者自らがワークショップを開催できるためのノウハウの提供や自主性・主体性のさらなる向上を目的に実施した。
- 9/3(土)：プログラム表の作成。9/4(日)事前打合せ同席(Zoom)。

○ 高安西小学校区まちづくり協議会まちづくりワークショップ開催へ向けた支援(延期)

- 来年度からの健康づくりにおける活動内容のリニューアルのために幅広い方からの意見収集と議論する上での話し合いの質の向上のためにワークショップを開催される。(1/15 開催予定)
- ワークショップ開催までの準備段階から当日の進行までのサポート依頼を引き受けた。
- 11/26(土)：事前打合せ(Zoom)。12/11(日)：事前打合せ(Zoom とつどいの併用開催)
- 新型コロナウイルス感染拡大に伴い年度内での開催を中止し、来年度以降に延期が決定した。

○ 「つどいの学習座談会」の開催を企画(No.9,10 に関連)

- 第 3 回目の実施計画(案)を話題提供者と打ち合わせ(高美 5 丁目町会長)。

【エ】 社会貢献活動への参加支援業務

○ 体験会開催記録

No.	日付	開催内容	開催場所	人数
1	4 月 3 日(土)	菜の花のお花見と菜の花収穫等	中環の森	12 名
2	5 月 28 日(土) ※1	菜の花の刈り取り(根を付けたまま収穫)		0 名
3	6 月 25 日(土)	菜種の脱穀(菜の花の茎と種を分ける)		13 名
4	3 月 26 日(日)	菜の花のお花見他		12 名
年間開催回数：4 回				37 名

※ 1：「エコロジー美園小」は、美園小学校内で「菜の花の刈り取り」と「さつまいも等の苗植え」を行われたため、参加はなかった。そのため、関係者 12 名で、菜の花の刈り取り、河内木綿の畝づくりの準備を行った。

※ 中環の森での体験会は、「つどい」「特定非営利活動法人自然環境会議八尾」「エコロジー美園小」の3団体の共催により実施し、「美園小学校区まちづくり協議会」は協力団体として携わっている。

解説・経過：中環の森で共催している「つどい体験会」について

- 2012(平成 24)年 12 月からつどい主催の「広がり交流会」を年 3～4 回開催し、約 9 年が経過。
- 中環の森は大阪府管轄であり、八尾市域においては「特定非営利活動法人河内木綿藍染保存会」が春から秋に河内木綿を栽培し、「特定非営利活動法人自然環境会議八尾」が冬から春に菜の花を栽培し、大阪府と協働をされていた(両市民活動団体は、つどい登録団体である)。
- 佐堂東交差点付近に活動場所(現地)があり、美園小学校の児童の通学路として、季節に応じて河内木綿や菜の花をよく目にしていた。小学校の授業以外で、現地には入れなかった。
- つどい業務責任者が、以前から美園小学校 PTA 部会(エコロジー美園小)とのつながりがあり、身近で新しい活動先としてご紹介し、地域活動団体と市民活動団体が共に菜の花や河内木綿の栽培を体験する場として開催を行って来た。
- 2019 年度頃に、河内木綿の栽培の担い手不足により、美園小学校区まちづくり協議会が栽培を担う事になり、「つどい」は、美園小学校区まちづくり協議会とのつながりがさらに深まる。
- 現在は、「つどい」「特定非営利活動法人自然環境会議八尾」「エコロジー美園小」の共催により実施し、現在は「美園小学校区まちづくり協議会」は協力団体として携わっている。

○　**交流会開催記録**

No.	日付	開催内容	開催場所	人数
1	4 月 15 日	第 57 回　つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	12 名
2	4 月 21 日	山本コミセンラウンドテーブル	山本コミセン	7 名
3	5 月 20 日	第 58 回　つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	9 名
4	6 月 17 日	山本コミセンラウンドテーブル	山本コミセン	7 名
5	6 月 17 日	第 59 回　つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	10 名
6	7 月 15 日	第 60 回　つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	14 名
7	8 月 26 日	山本コミセンラウンドテーブル	山本コミセン	7 名
8	8 月 26 日	第 61 回　つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	9 名
9	9 月 16 日	第 62 回　つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	11 名
10	10 月 21 日	山本コミセンラウンドテーブル	山本コミセン	7 名
11	10 月 21 日	第 63 回　つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	15 名
12	11 月 18 日	第 64 回　つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	10 名
13	12 月 16 日	山本コミセンラウンドテーブル	山本コミセン	9 名
14	12 月 23 日	第 65 回　つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	12 名
15	1 月 20 日	第 66 回　つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	12 名
16	2 月 11 日	第 67 回　つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	10 名
17	2 月 17 日	山本コミセンラウンドテーブル	山本コミセン	9 名
18	3 月 17 日	第 68 回　つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	10 名
年間開催回数：18 回				180 名

解説・経過：山本コミセンラウンドテーブルについて

2016(平成 28)年度に業務委託契約(5 ヵ年度)の仕様書の中に、新たに下記が盛り込まれた。
「利用者・参加者等による意見を聴き、分析結果を市に報告するとともに、新たな事業の企画・運営に反映すること。そのため、毎年度、登録団体等に対してアンケートを行い、登録団体の意見や活動状況を徴収し、協働事業数や協働先等の把握に努めること。」
2016(平成 28)年度から「つどい登録団体」にアンケート調査(計 3 回)を実施し、2017(平成 29)年度と 2019(令和元)年度は出張所訪問を行い、団体・地域の現状等の情報収集に努め、「出張！専門家相談会」「チラシ作りワークショップ」という新たな企画・実施が実現した。
「山本コミセンラウンドテーブル」も、事業の企画・運営のひとつとして、2018(平成 30)年 2 月から企画し偶数月に開催している。山本出張所管内 6 小学校区の校区まちづくり協議会を対象(所長及びコミスタ含む)に情報収集や情報提供を行い、地域分権を推進する話合いの場として「山本小学校区まちづくり協議会」と共催及び「山本出張所」の協力により実施している。

③多様な主体による連携・協力促進業務

【ア】連携・協力のコーディネート

○　相談対応後の経過(マッチングの有無)計測【別表のエクセルシートを参照】

・　【マッチング件数：39 件】／【相談件数：131 件】

(1) 市民

No.	相談No.	日付	リピーター	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2022-033	6 月 19 日	●	ウクレレを教えている団体があれば紹介してほしい。	つどい登録団体「ウクレレ・ハウス」の代表者の連絡先をお伝えした。 6 月に 1 度参加された。7 月も参加を継続されるとのことだった。
2	2022-039	7 月 2 日		猫の保護活動を行っている団体があれば紹介してほしい。	つどい登録団体「八尾ねこの会　さくら」を紹介した。また、紹介団体が運営している「譲渡型ねこ空間　ころん」が来館時に開いていたため、その足で訪問されることを提案した。 相談後、すぐに「譲渡型ねこ空間ころん」に訪問された。しかし、預かっている猫が多く待機状態だったため、自宅で子猫を引き続き引き取って飼育する事にされた。相談先が分かっただけでも助かったとのご感想をいただいた。
3	2022-044	7 月 20 日		つどい登録団体「起立性調節障害(OD)家族の会～Snow～」を紹介してほしい。	つどい登録団体「起立性調節障害(OD)家族の会～Snow～」の開示可能情報をお伝えした。 紹介者から、相談者から問合せがあったこと。また、活動のアドバイスが必要であった新聞の取材には間に合わなかったが、つながりを作ることは出来たとご報告があった。
4	2022-048	7 月 23 日		つどい登録団体「八尾市アマチュア無線非常通信連絡会」に連絡を取りたいので連絡先を教えてほしい。また、コールサイン(無線局の呼び出し符号)も教えてほしい。	団体情報で開示されている代表者名と電話番号をお伝えした。なお、コールサインは【やお市民活動ハンドブック 2014「つなぐ」】の貴団体の紹介ページに団体名称の横に英数字が書いていることを思い出し、相談者にお伝えした。お伝えした英数字がコールサインだった。貴団体のコールサイン「ＪＡ3ＺＥＺ」をお伝えした。 相談者と紹介者でつながることができたとのことだった。
5	2022-052	8 月 3 日		ウクレレを行っている団体があれば教えてほしい。	つどい登録団体「ウクレレハウス」の代表者名と連絡先をお伝えした。なお、8 月はコロナウイルス感染拡大防止の為の高齢者行動抑制の呼びかけに則り、お休みされることと 9 月からは再開予定であることをお伝えした。 9 月に参加されて、11 月にも参加を予定されているとのこと。
6	2022-055	8 月 17 日		子どもが魚に興味があり、活動先があれば教えてほしい。	絶滅危惧種「ニッポンバラタナゴ」が八尾市内の高安山のため池に生息しており、その保護活動を行っているつどい登録団体「NPO 法人　ニッポンバラタナゴ高安研究会」をご紹介した。 8/20 に行われた定期調査(キンタイツアー)に親子で参加した。同日、マルシェが近隣の廃校で行われていたので「きんたい博物館」にも訪問したとご来館時に報告があった。

No.	相談No.	日付	リピーター	内容	マッチング内容・団体・行事等
7	2022-064	9月23日		つどい登録団体「八尾和太鼓サークル　楽鼓」を紹介してほしい。	つどい登録団体「八尾和太鼓サークル　楽鼓」「天打鼓舞」の2団体をご紹介した。「天打鼓舞」に関しては和太鼓のサークルを探しているとのことだったので、候補としてご紹介した。「八尾和太鼓サークル　楽鼓」は開示情報が無かったため、「つどい」から団体にご連絡しておつなげすることになった。 紹介団体から、相談者と連絡を取ることが出来、次回の練習日(10/15)に見学されることが決まったとお伝えいただいた。
8	2022-068	10月13日		卒業論文で断酒について取り上げる。ついてはつどい登録団体「八尾市断酒会」の活動に訪問し、お話をお聴きしたいので紹介してほしい。	つどい登録団体「八尾市断酒会」の代表者名と連絡先(電話番号・メールアドレス)をお伝えした。また貴団体の10月の日程表に掲載している活動日について合わせて説明を行った。紹介者から、先週の会合に来ていただくことが出来、論文が完成したら送っていただけることになったとご報告があった。
9	2022-078	11月23日		つどい登録団体「ウクレレハウス」を紹介してほしい。	つどい登録団体「ウクレレハウス」の開示可能な情報をお伝えした。 また、「つどい」についてもご存知ない様子だったため概要説明を行った。 紹介団体と連絡を取られて当日から参加されることになったとご報告いただいた。
10	2022-094	1月7日		つどい登録団体「八尾読み聞かせの会」を紹介してほしい。	つどい登録団体「八尾読み聞かせの会」の開示可能な情報が登録されていなかったので「つどい」から代表の方に連絡し、おつなげした。 紹介団体の代表から、「つどい」からの連絡後すぐに相談者に連絡して、入会していただくことが決まったとご報告いただいた。
11	2022-125	3月15日		トルコ地震の寄附を募りたいのだが、寄附箱を設置してくれる方がいれば紹介してほしい。	つどいのカウンターに設置すると対応し、相談日から設置することになった。

(2) 市民活動団体

No.	相談No.	日付	リピーター	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2022-014	5月6日		城正会商店街でちびっこまつりを開催する。主催者が出展する「輪投げ」「スーパーボールすくい」「ミルクせんべい」「たこせんべい」の出展のお手伝いをしていただけるボランティアさんがいれば紹介してほしい。	紹介先は無かった(つどい登録団体「学生団体はちのじ」は、すでに「OTAIYA　MARKET」で携わっていることを伝えた)。また、どこにも広報が出来ていないとのことだったので、「つどいブログ」や「つどい Facebook ページ」で広報支援を行うことをお伝えした。同時にボランティア募集も合わせて広報した。掲載したブログ別紙参照。 Facebook を見られた方から相談者へボランティアの申込の連絡があった。と相談者から対応者に連絡があった。
2	2022-015	5月13日		活動場所に猫が住み着いてしまい困っている。相談したいのでつどい登録団体「八尾ねこの会さくら」を紹介してほしい。	つどい登録団体「八尾ねこの会　さくら」の代表に対応者から連絡しておつなげした。 紹介団体の代表に連絡した後、すぐに現地に赴いていただき捕獲機をお借りし、ねこも保護していただけることが決まったとのこと。紹介団体からお借りした捕獲機で子猫を保護することができ、保護した子猫(計 3 匹)に関しては相談者のメンバーで保護することが決まり、去勢避妊が済むまで相談に乗ってもらっているとご報告があった。
3	2022-079	12月2日	●	お話会に話題提供者としてリモートでつどいスタッフに出演してほしい。	「依頼受付・管理表」の必要事項を聞き取りながら別紙にまとめた。つどい学生スタッフに LINE で連絡を行った。 大阪府での同性パートナーシップ制度の取組内容や歴史について、あ～いあいひろばのアドバイザーを対象に座談会(2/15(水)15:20～15:50)を行うことになった。
4	2022-083	12月14日	●	主催行事に講師としてきてくださる方を探しているので、誰か紹介してほしい。	以前から相談者とも面識があったつどい登録団体「八尾ねこの会さくら」の代表の方をご紹介した。また、今まで子どもの健全育成の分野の方は呼んだことが無いとの事だったので、相談者がお住まいの地域で活動されているつどい登録団体「八尾 de 宿題カレーの会」と「お結びころりん」の代表の方も検討してはどうかと提案した。 相談者から、紹介したつどい登録団体「八尾ねこの会さくら」の代表の方に来ていただく事が決まったことをご報告いただいた。
5	2022-092	1月5日		ガイドツアー等を紹介する旅行体験情報サイトに掲載・紹介してもらうことになったが利用規約等の内容が理解できないので教えていただける方を紹介してほしい。	金光　一輝氏(行政書士)につどいから連絡を取り、利用規約等をスキャンして E メールで送信した。 相談者と対応者が「つどい」で顔合わせし、規約等の内容を数日かけて、確認して申込をすることが出来た。

No.	相談No.	日付	リピーター	内容	マッチング内容・団体・行事等
6	2022-119	3月2日		ウクライナ支援として避難所建設費用の寄附を行事開催時に募りたい。出来る方法があれば提示してほしい。	相談内容の寄附先は八尾市内に所在する「日本ウクライナ交流文化協会」であることを紹介した。紹介先も寄附や避難民の支援対応で人手がないことから、つどいで寄附の呼びかけをさせていただき、寄附金対応は対応者個人もしくはつどい委託運営団体で支援出来ることを提示した。提示内容で行うことになった。 行事開催の最後に寄附の呼びかけをつどいで対応させていただき、寄附金の受付対応を対応者個人もしくはつどい委託運営団体でさせていただき支援した。その結果、寄附金を賜り、終了後に日本ウクライナ交流文化協会に寄附金を送金し、相談者へ完了報告を行った。
7	2022-122	3月9日	●	久宝寺小学校区まちづくり協議会のwebを作成している方を紹介してほしい。	久宝寺小学校区まちづくり協議会総務部会の方に連絡をとり、連絡先の開示の了解をいただき、相談者にお伝えした。 3月16日につどいで顔合わせを予定していたが、相談者が急遽仕事が入ったため、3月14日に紹介者と喫茶店でお会いし顔合わせ、お話をされたとのこと。
8	2022-128	3月17日	●	「公式ドッジボール親子体験会」を開催する。まだ定員まで若干の余裕があるので、広報先があれば紹介してほしい。	町会運営アプリ「結ネット」を導入し回覧板を電子媒体で回覧している「高美町 5 丁目町会」町会長に開催チラシの回覧を対応者から提案しお願いした。紹介者はZoom上で了解をいただき、相談者からLINEにて開催チラシのデータを送付し、町会の回覧に配信していただいた。

(3) 地域活動団体

No.	相談No.	日付	リピーター	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2022-034	6月24日		盆踊りや子ども向けの行事を行うにあたってアンプやスピーカー、プロジェクターをお借りできる団体を探しているので紹介してほしい。	つどい委託運営団体として、アンプやスピーカー、プロジェクターの貸出を行っていることを伝え、現物を見ていただいた。また、ご自身のPCで映像や音源を流すことを考えておられたこと、予算額(案)を提示されていたことから、今後の活動にも活用できるように無線のスピーカーを購入する事も考えたらどうかと提案した。 当日にプロジェクターをお貸しし、相談者が購入していたスピーカーとの操作レクチャーを行ったことで無事使用することが出来た。
2	2022-035	6月24日		子ども向けの工作ブースを出すが、何を作るブースにするか悩んでいる。アドバイスをいただけないか。	つどいで以前に作成したチラシを見ていただいた。パントマイムを披露した団体と手品を披露した団体の共演をきっかけにつどい登録団体「M’s」が結成され、各種行事で依頼が殺到し地域行事等に貢献した事例を紹介した。次に「久宝寺寺内町　燈路まつり」の紙灯ろうの事例を紹介し、紙灯ろうに関しては実物が「つどい」にあったため、メンバーで検討する材料として提供した。また、相談者に「つどい」を紹介していただいた方の聞き取り内容に記載からの相談で紹介したつどい登録団体「工房夢祭」も見ていただいたチラシに事例があることもお伝えした。 来館され、8月初旬に紙灯ろうづくりを行う予定になったとご連絡があった。
3	2022-038	6月30日	●	同じ町会にお住まいの方で、家がごみ屋敷になっている。自分だけでは助けることが出来ないので、どこに相談すればよいか教えてほしい。	相談者の話をお聞きすると、ご本人が心の病か認知症の原因があるかもしれないのと、60歳以上に見受けられるため、地域包括支援センター(高齢者あんしんセンター)である成法苑に対応者からお電話させていただいた(取り次いでご紹介)。成法苑の担当者の前川氏につないでもらい、相談者から現状等をお話してもらった。 その後相談者は紹介者と会って、現地のご自宅を訪問することになった。生活貧困レスキュー事業(大阪府社協の部会事業)や社協の貸付制度等をご本人や家主さんにも地域包括支援センターから情報する予定。すでに相談者から案件が地域包括支援センターに引き継がれていたので、ほっとしておられた。紹介者からその後を確認した。ごみ屋敷になっているご本人の意思は、不用品を整理・廃棄するという「片付け」ではなく、何を捨てたくない中で物品を移し変え(移動)をしたいという意味であった。マンションの部屋の玄関先の共有部分に置いていた植木類等をベランダへ移動したく、相談者に助けを求めたと言う事が分かった。なぜ移動することになったのかは、共有部分に置いていた植木類などを持っていく人がおられた。「持って行かないで下さい！」とご本人が張り紙を貼った事で、管理人さんから個人の物を共有部分に置かないよう言われたので移動する事になった。相談者はご本人が捨てる意思がないことが分かったため、携わる事を途中で控えられた。紹介者から相談者へは今後もご本人から移動等引き受けないように、地域包括支援センターへ問合せてもらうようにご説明された。その際は有償などでサービスがあることをお伝えする。

No.	相談No.	日付	リピーター	内容	マッチング内容・団体・行事等
4	2022-061	9月9日	●	Zoomの操作で不安な箇所があるので教えてほしい。	1,ミーティングの予定の方法 2,一番簡単な参加の方法 3,画面共有の方法 上記三点についてご持参されていた相談者のPCで実際にZoomの操作を行いながらレクチャーを行った。 相談者から無事に円滑に進めることができ、4人の方がオンラインで参加され、内1人は岡山県に引越されていた方ともつながることが出来た。次回からもオンラインで繋ぎながら開催していく予定であることをご報告いただいた。
5	2022-067	9月29日		つどい登録団体「八尾市ディスコン協会」に問合せしたいので紹介してほしい。	つどい登録団体「八尾市ディスコン協会」の開示情報をお伝えした。 紹介者から連絡があり、講師として受託されることが決まったとご報告いただいた。また、紹介者からは八尾市にディスコンを初めて普及した活動先が八尾小であった事もあり、またつながりが出来たことをとても喜んでいるともお伝えいただいた。※2013年度～2014年度にかけて、八尾市教育委員会が土曜日の総合学習として「チャレンジキッズ」を実施していた。八尾小学校と安中小学校では 3 年生を対象に成法中学校に登校してもらい、様々な総合学習を体験し学ばれていた。「つどい」においては、成法中学校での総合学習のカリキュラムとして、つどい登録団体「八尾マジッククラブ」と「八尾市ディスコン協会」を紹介した。八尾小学校・安中小学校の両小学生と保護者を通じて八尾市内におけるディスコンの普及に貢献しており、今回の相談対応につながっている。
6	2022-082	12月14日	●	アンケートを作成途中なのだが、紙媒体とフォームの2種類とも操作が不安な部分があるので教えてほしい。	それぞれ下記の様にレクチャーを行った。紙媒体：文字のサイズを統一し行間の調整を行うことで読みやすさを図った。フォーム：相談者がご持参されたPCでフォームの作成からQRコード作成の方法をお伝えした。 相談者から再度回答の見方が分からなくなったので教えてほしいと問合せがあり対応した。その際にGoogleフォームでの回答が 132 件と予想の倍以上の件数があったことが分かり喜んでいただくことが出来た。
7	2022-099	1月22日		ホームページを立ち上げたが、検索してもヒットしないので解決方法があれば教えてほしい。八尾市のホームページにも紹介ページに掲載してほしいので方法を教えてほしい。	過去にGoogle等に検索できるように登録したことを思い出し、ネット検索をしたところ、Googleのデータベース「Google Search Console」に登録されると検索して出てくるようになるとお伝えした。八尾市のホームページ「校区まちづくり協議会の情報発信について」で紹介されているので、コミュニティ政策推進課に連絡すれば手続き出来る事をお伝えした。なお、この件については「つどい」からもコミュニティ政策推進課に連絡を入れることにした。 検索してヒットする手続きは2月19日に集まる際に確認を行うとのことだった。対応者がインターネット上で確認したところ、検索してヒットし八尾市のホームページ内にある紹介ページにも掲載されていることが確認できた。

No.	相談No.	日付	リピーター	内容	マッチング内容・団体・行事等
8	2022-121	3月9日		4月2日にイベントを開催するにあたり、植木鉢にお絵かきをした団体の出展を見たことがあり、出展もしくは植木鉢を提供してほしいので連絡先を教えてほしい。	つどい登録団体「緑の少年団　いちょう」をご紹介した。連絡がつかなかったため、E メールで相談者の連絡先を記載し、相談内容について対応者から連絡を行った。 紹介者と連絡がつき、出展いただけることになった。

(4) 行政

No.	相談No.	日付	リピーター	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2022-027	6月8日		「防災リーダー養成講習」で若年層や子育て世代の方々に新しく参加してもらいたいと考えている。ご紹介いただけないか。	「NPO法人　ママの働き方応援隊」に携わっていた方を紹介した。 後日、メッセンジャーで紹介者に別紙のチラシ(案)を画像ファイルで送信した。その後、紹介者とお会いしてわがまちマップの作成でお話をした所だった。ご紹介いただいたことでつながったと仰っていた。
2	2022-063	9月16日	●	グラフィックレコーディングの依頼を行いたいのだが、実施されている方を紹介してほしい。	地域活動団体向けにグラフィックレコーディングの支援をされている武田氏(つどいスタッフでもある)をご紹介した。 紹介した当日に連絡を取られて、日取りや費用について打合せを行われたとのこと。12月1日の件について正式に依頼を受けることが決まったと紹介者からご報告があった。
3	2022-072	10月26日	●	「つどい井戸端会議」でスマホアプリを使って町会運営をサポートする「結ネット」について話題提供されていた方にお会いして、「結ネット」について学習したいので紹介していただきたい。	先方の高美町五丁目町会の岡村氏の都合もあるので、相談者の候補日時をいくつか提示してもらうことになった。岡村氏には「つどい」からお会いしたい旨をお伝えした。 東山本小まち協・西山小まち協・南高安小まち協の3協議会で集い、紹介者から「結ネット」の学習会を相談者が企画し開催された。次回2月9日10：00～開催予定。
4	2022-076	11月9日	●	来年2月25日にセミナーを開催するにあたり、12月6日にセミナーの企画について話合う意見交換会を開催する。18歳～35歳までが対象なので参加される方や広報等、協力いただける方を紹介してほしい。	11月11日に「つどい」の学生アルバイトが出勤するため、その2名に対応してもらい、広報など協力方法を考えてもらうことになった。 対応者の所属団体から計2名の参加者が集まり、当日(12月6日)は対応者の2名も参加した。

(5) 公共施設

No.	相談No.	日付	リピーター	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2022-018	5月25日		行事開催で後援名義があればコミセンの部屋の貸出を対応出来るのだが、主催者が勘違いして公園の占用利用を行うと隣接のコミセンの部屋が利用出来ると思われ、開催チラシにもコミセンの場所が開催場所として掲載された。公園のみで開催が出来る様にアイデアや知恵等で支援してもらえないか。	後援と公園を勘違いされておられたが、公園は占用許可の手続きが完了しているため、モデルロケット制作をコミセンで行うことを考えておられたが、テントと長机とパイプ椅子があれば公園でも開催出来るとご提案した。納得していただいたので、つどい委託運営団体がイベント時に貸出しているテントと長机とパイプ椅子を貸出した。 開催日の5月29日当日は、最高気温31℃の予報の中、晴天で風もなく、モデルロケットの制作が滞りなく執り行われた。また、公園では子ども達が制作したモデルロケットの打ち上げが実施された。紹介者から物品貸出依頼を受けて、開催することが出来た。

(6) 事業者

No.	相談No.	日付	リピーター	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2022-002	4月5日	●	河内木綿のタネを譲ってくださる団体があれば紹介してほしい。	つどい登録団体「特定非営利活動法人　河内木綿藍染保存会」をご紹介した。つどいからの紹介だと先方にお伝えすれば話は聞いてくれると思うことも添えた。 紹介者に連絡されて、タネを提供いただけることになった。また、紹介者からは必要であれば綿繰り機も貸出できる事も提案いただいたとのこと。
2	2022-054	8月17日		つどい登録団体「ベトナム八尾流交流会」とつながりたいので紹介してほしい。	つどい登録団体「ベトナム八尾流交流会」の開示可能情報をお伝えした。 紹介後、団体と連絡を取られてつながりを作ることが出来たとご報告いただいた。
3	2022-080	12月3日		イベントで当日お手伝いいただける方がいれば紹介してほしい。また、今後イベントを含めて、事業に携わってもらえる方がいれば紹介してほしい。	すぐにご紹介できる方が思い浮かばないと回答した。ただ、同じ久宝寺小学校区まちづくり協議会で、顕証寺からドローンを離陸させて、小学校区の様子を撮影された方がいるので、その方にイベントのご案内をさせていただくとお伝えした。同様にドローンの手続きを特定行政書士として業にされている方にもご案内を行うとお伝えした。 相談対応時にご紹介できる方が見つかったのでご紹介した。1月4日(水)10：30～つどいで顔合わせすることになった。相談者より紹介者がどのような取組みをされてきたのか紹介者へヒアリングを行われた。紹介者が相談者と何で一緒に活動できるかを模索しておられた。久宝寺緑地の使用は難しい点もあるため他のプロジェクトで連携していくことになった。八尾市環境保全課を紹介した。八尾市立リサイクルセンター学習プラザ「めぐる」で行事企画と実施を行う際の連携先として紹介した。「めぐる」に相談者のショールームとして、地産地消やバイオプラスチック樹脂でつくる3Dプリンタを設置予定することになり、連携が始まった。
4	2022-104	2月9日		つどい登録団体「起立性調節障害(OD)家族の会～Snow～」を紹介してほしい。	つどい登録団体「起立性調節障害家族の会～Snow～」の開示可能情報をお伝えした。 2月26日の朝刊に取材記事が掲載されたとご報告いただいた。

(7) 教育機関

No.	相談No.	日付	リピーター	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2022-057	9月1日	●	学園祭を開催するにあたり、近隣の企業協賛をお願いしたいと考えている。竹渕にある「不易糊工業株式会社」を紹介してもらうことは可能か。	「不易糊工業株式会社」は代表取締役の方とつながりがあることを伝えした。ただ、以前に「つどい業務」以外で商品を提供してもらう機会があったが、原価・仕入値で購入し提供した事があり、協賛よりも販路として社員さんに対応いただいた事があると回答。相談者の所属先の方が対等に協働や協賛を考えてくれるのではないいかと提案し、直接貴社に連絡することを提案した。 相談者から、つどい委託運営団体理事長から執行役員の方に連絡をとっていただき、9月22日に学校にお越しいただいて、10月22日の文化祭に学生が出店することになったとご報告があった。
2	2022-086	12月22日		野外活動(校外での現地活動)や出前講座で来ていただける団体があれば紹介してほしい。	右記の団体を紹介した。①つどい登録団体「河内の戦争遺跡を語る会」を平和啓発団体として紹介。②募金活動については、「八尾市社会福祉協議会」を紹介(赤い羽根募金などをされている)。③出前講座としては最近つどいに登録されたつどい登録団体「三楽会」を紹介(墨絵を教え、他市町村で出前講座の実績あり)。④上記③の団体が出前授業される際に登録した「八尾市広報・公民連携課」を紹介(参考相談№2022-069)。⑤地域の行事参加や地域の方々にお話をしてもらうには「高安西小学校区まちづくり協議会」を紹介し、問合せ先は「山本コミュニティセンター」内の山本出張所職員(コミュニティ推進スタッフ)にお問合せされることをお伝えした。上記にお問合せの際は「つどい」に紹介を受けて連絡した旨をお伝えするように添えている。 紹介した「河内の戦争遺跡を語る会」の代表に、1月31日の5時間目に6年生対象の外部講師としてきていただいたとのこと。
3	2022-090	12月28日		つどい登録団体「八尾の助産師の会」をご紹介してほしい。	つどい登録団体「八尾の助産師の会」の代表者の連絡先をお伝えした。これまでに「いのちの授業」として行われていることをお伝えした。 2月10日に2年生対象に「いのちの授業」を行うことになった。

○　地域活動団体主催のイベントに参加し、若年層の市民活動団体をご紹介(3 月)

- 西山本小学校区まちづくり協議会会長より、子供向けのイベントの企画運営に自分たちだけで行う事への限界を感じ始めていること。打開策として、来年度からは若年層(大学生～子育て世代を想定されていた)の参画を考えているが繋がり方がわからない。という想いをヒアリングした。
- つどい登録団体から他のまち協と協働歴がある「学生団体はちのじ」、西山本小学校区を活動地域とされている「ひまわり少年団」計 2 団体。イラストやデザイン作成で地域活動団体にも取り組まれている武田氏の計 3 名とともに、3 月 19 日に開催されたスタンプラリーに参加し、会長と担当のコミスタとの顔合わせ、連絡先の交換を実施。
- また、西山本小学校区在住のつどい登録団体「地域で子育て応援隊」の代表として西山本小学校区でまち協とも連携して活動されている相楽氏ともお会いし、顔合わせを行った。
- お話ししていく中で、7 月に開催予定の「サマーフェスタ(仮名称)」への企画運営からの参加・協働を見据えたつながりを作ることが出来た。

【イ】先進的な取り組み事例の収集

○　八尾市芸術文化基本条例制定に関する取組みの収集及び共有(5 月)

- つどい委託運営団体である NPO 法人から「八尾市芸術文化振興審議会」に委員選出した大内委員より、条例制定及び計画制定スケジュールについて取組み収集及び共有を行った(5/20)。
- 計画策定にあたっては「やおカルチャーコモンズ」の中に、「つどい」「校区まちづくり協議会」もネットワークに入っていることから、ネットワーク及びパートナーシップ形成に伴う「コーディネータの育成」の仕組みづくり及び条例と「つどい」「校区まちづくり協議会」等とのつながり・関連性等の情報提供及び意識啓発について共通認識化を行った。

○　「ムリなく楽しくネットワーク型地域活動のススメ」吹田市立市民公益活動センターラコルタ
講師：近畿大学　総合社会学部　総合社会学科環境・まちづくり系専攻　久　隆浩氏　(5 月)

事例収集内容
○　「階層組織型」と「ネットワーク型」とは ・　「階層組織型」は、組織の構成員との関係が上下関係であり、上層部が意思決定を行い、上層部から指示を出して一丸となって動く。携わる方々は「やらねばならない」と言う義務感・使命感の基、結果「活動をさせられる」と言う現象が起こる。 ・　「ネットワーク型」は、組織の構成員との関係が水平関係であり、共感で関係を結び合う。意思決定はみんなで考え、みんなが自発的に出来る事・やりたい事を行う。携わる方々は「やりたい事を楽しく」の基、結果「やりたい活動をする」と言う現象が起こる。 ○　既存団体へ若年層が参画しないのは「階層組織型」の組織離れが原因 ・　地域活動では町会・自治会の加入率が低下し、地域活動に参加する若年層が減少している。 ・　地域活動団体も市民活動団体も高齢化と担い手不足現象が起こっている。 ・　決して若年層は社会問題や地域活動に無関心ではなく、むしろ社会に貢献したい若年層は多く、若年層の社会活動は盛んになっている。例示として大学のオープンキャンパスに来る高校生から「ボランティア活動は出来ますか？」と質問が飛び交う。 ・　従来からある地域活動や市民活動の既存活動は「階層組織型」の活動が多い。若年層が参画・参加しないのは「階層組織型」を行う組織には関わらない定着しない事が要因で「階層組織型」の組織離れが進んでいる。 ・　「階層組織型」の活動では、年間のルーチン作業を粛々と行い、こなしていく事に、若年層はやる気が出ない。また特に元気のよい若年層の参画はない。自分たちで「ネットワーク型」を主体的に行うため、「階層組織型」の組織を頼らない。 ・　地域活動団体は「階層組織型」の典型例であり、地域活動団体が「ネットワーク型」に意識を向ける「意思表示」や導入や移行する「変化・進化」をして行かないと、組織の機能不全・組織の解散の可能性がある。地域活動団体が一番変わってほしいと講師から意見があった。 ○　「ネットワーク型活動」に共感・参画する年齢層 ・　1970 年代(昭和 45 年～昭和 54 年)生まれ以降、第二次ベビーブームに出生した団塊ジュニア世代も含まれる。就職時にバブルが崩壊し社会の価値観の変化を体感している。仕事を自分で作るという価値観もある。 ○　「階層組織型」と「ネットワーク型」の向き・不向きと秩序形成 ・　「階層組織型」は、すぐ動かないといけない活動、多くの人がしっかりと担わなければならない活動に向いている。「ばらばらにならない」ための秩序形成は上層部が「管理」をする。災害時といった緊急事態には「階層組織型」が向いている。即効性が高い分、持続性が低い。 ・　「ネットワーク型」は、長続きさせたい活動、とりあえずやってみる活動に向いている。「ばらばらに

ならない」ための秩序形成は各自が「自律(自分自身をコントロールする)」がキーワードになる。即効性が低い分、持続性が高い。

○ 「ネットワーク型」の肝はファシリテーション能力

・ 兵庫県三田市高平郷づくり協議会の山田会長が「役員だけでは活動しない！」と宣言した。「やりたい方がいれば、任せきる！」方針を出した。移住者が増えている地域であることから、服部あかねさんが「地域でカフェをしたい！」と手を挙げた。月 1 回ランチ DAY をすることになった。移住者は地域では発言権がなかったが、これをチャンスに手を挙げた。

・ 堺市南区・新檜尾台連合自治会は、「今年から自治会は動かない、活動しない！」と宣言した。「やりたい人が実行委員会で動いてもらう！」方針を出した。

・ 手が挙がらないという心配や不安があったが、それは腹をくくる事。そしてもし手が挙がらなかった場合「“やりたくなかった！”という結果である！」と受け止めることだと講師が述べた。

・ 上記の事例は、「命令で動く人はいない！強制では動いていない！」と言うことである。

・ 「ネットワーク型」を意識し、導入し、移行する機会として、地域活動団体が「ワークショップ」を開催出来るようになる事が肝である。その事で「ネットワーク型」で話し合えるようになる。

事例収集内容

・ 泉大津市の旭小学校区では、皆さんの意見を聴くのにワークショップを行いたいと会長が提案した。しかし 9 割が反対した。不安感が反対になる。各地域の代表者が参加している方が多く、地域の声は自分たち(各地域の代表者)が一番分かっていると言う自負もあった。その中で、会長が責任を取って開催したい意向を示し、ワークショップが開催された。「ワークショップ」を開催した結果、色んな人の顔が見えたとワークショップへ参加された方々が喜ばれた。

○ 「ネットワーク型」の組織運営が出来ているか「宝塚市　まちづくり協議会ガイドライン」

・ 兵庫県宝塚市では「まちづくり協議会ガイドライン」で 22 項目のチェックリストがある。4 つのポイント(①誰もが参加できる仕組み、②民主的な意思決定、③計画を中心に考え動く、④公開と情報発信)で運営のチェックが出来ることで、地域活動が「ネットワーク型」を意識し、導入し、移行する仕組みが出来ると紹介があった。

○ 「階層組織型」と「ネットワーク型」の進め方の違い

・ 「階層組織型」の進め方は、上層部が意思決定・判断がし易くするために事務局が「たたき台」や「案」を作成した上で、意見をもらい微修正のうえで、上層部が意思決定を行い降ろしていく。

・ 「ネットワーク型」の進め方は、白紙から話合い、ホワイトボードで出た意見を書いて行き、みんなで意思決定を行う。

・ 「ネットワーク型」を導入や移行しようとしても意識しても、「階層組織型」が行う「たたき台」や「案」を作ってしまうと活発な意見が出ず、微修正程度の意見に留まるため、「階層組織型」に陥りやすくなるので、注意が必要。白紙から話し合うことが大切である。

○ 「ネットワーク型」の活動展開【結論は 2 点】

・ 結論は「やりたい人にやりたい事を任せる」「全員参加をやめる」である。

・ 「やりたい人にやりたい事を任せる」ために、やりたい事が出来る舞台(環境づくり)や機会づくりを提供する。「やりたい事を行う」の役割と「環境づくり・機会づくり」の役割も含めて、みんなが活動を担うことである。

○ 「ネットワーク型」の活動展開【法則を活用する】

・ 「全員参加をやめる」という提案は、法則に関係する。

・ ひとつ目は「働きアリの法則」がある。よく働くアリ・ふつうに働くアリ・あまり働かないアリの割合は、2：6：2 である。集団・グループ・組織にする事で生まれる法則である。

・ ふたつ目は「集団 1/5 の法則」がある。①自発的に動く、②動いている人に触発されて動く、③命令されて動く、④命令されても動かない、⑤やる気のある人の足を引っ張るの 5 種類がある。「全員が自発的には動かない」法則だと、みんなで理解・認識する事が重要である。

・ みっつ目は「コミュニティ・オブ・プラクティス―ナレッジ社会の新たな知識形態の実践」は、組織全体の内、「コーディネータ」1 人に対して、「コア・グループ」が組織全体の 10～15%を占め、「アクティブ・グループ」が組織全体の 15～20%、残り「周辺グループ」が 75%～65%を占めるという法則である。「周辺グループ」が小さくなると、「コア・グループ」「アクティブ・グループ」も小さくなるという法則が働く。周辺グループは決して組織から辞めたい訳ではなく、連絡は欲しいという気持ちがある。周辺グループを小さくしないためには、やめさせるのではなく、連絡・案内など情報発信をしながらもつながりを継続することが大切である。

※ 「コア・グループ」は NPO 法人では理事やスタッフなどで活動している人。

※ 「アクティブ・グループ」は手伝ってくれる人やプロジェクトで動く人。

○ 「ネットワーク型」の実践・体験【NPO 法人エコネット近畿】

・ NPO 法人エコネット近畿では、30 代・40 代が理事を担い世代交代しガラッと変わった。ホワイトボードミーティングで白紙から話し合うようになり、これまでの事務局中心から理事会中心で組織が動くように変化した。

○　八尾市芸術文化振興審議会及び「やおうえるかむコモンズ推進会議」に関する取組収集・共有(9月)

- 「やおうえるかむコモンズ」自身と「やおうえるかむコモンズ推進会議」自身が混在し違いを認識しにくい点を共有した。
- 八尾市芸術文化推進基本計画が推進する「芸術文化による創造及び交流の基盤の形成」と「やおうえるかむコモンズ」を活かした豊かなまちづくりは、誰が主体なのかがわかりにくい点を共有した。
- 「やおうえるかむコモンズ」のネットワークが広がり関係性を深めるには、各活動主体の活動資源の洗い出しを行うことで、協働のアイデアやパートナーシップ(協力関係)の構築や協働の促進を図ることが出来るが、事業の実施や行事の開催が主眼になっているのでプロセスの検討が必要だと感じた。
- これまでの同様の事例を学ぶ必要があることを共有した。

○　事例先訪問：宝塚 NPO センター「シングルマザーハウス With」(10 月)

事例収集内容と考察
○　概要 ・「認定 NPO 法人宝塚 NPO センター」が、居住支援法人格を取得され「住まい」に困っている方々の支援をはじめられた。物件は宝塚市の阪急小林駅から徒歩 15 分にある。 ・貴法人は、以前から「まちづくり」や「就労支援」の事業をされており、事業を通じて実感されたのは、就労支援のひとつとして相談者と共に「仕事」を探されているが、「住まい」がなくては仕事に就けないことがある。そこで、住まいと仕事は 1 セットであると考え取組まれた。 ・休眠預金を活用する助成制度があることを知り、採択され事業が実現された。 ・事業実現に大きく 4 つの協力者及び主体が各立場で同じ目的に向けて協働された。物件探しの協力者、社会貢献として貸された大家さん、工事資金が少ない中で協力いただいた建設会社、助成金申請時に「推薦書」という形で支援された宝塚市の多くの各部署。 ○　事例収集内容(対応者、貴法人中山理事長) ・食料支援は、「生活協同組合コープこうべ」さんとの協働。 ・コミュニティルームは、入居者同士で食事を行うことが主ではない。シングルマザーの癒しなどのために活用してもらう事が主である。居住支援法人格の取得は、以前から駅前の物件をサブリースとしてカフェをシェアして出店のハードルを下げた「シェアカフェ」の運営がきっかけになった。 ・休眠預金を活用する助成制度は毎年度テーマが変わる。その年度のテーマに該当された事で申請が出来た。 ・この助成制度の申請や物件等も含め、その準備の中心は中山理事長が中心となって、進めて来られた(書類作成等は、関係者の協力もあったが、ほぼ理事長が全体を担われた)。 ・上記の休眠預金の活用に関する制度により資金調達が出来たが、貴法人自身からも資金を捻出(自己資金)している。 ・18 年振りに貴法人の活動にご訪問をしたこともあり、この間の法人運営の動きも収集。 ・貴法人は「宝塚市みんなのまちづくり協議会ポータルサイト」の委託運営もされている。 ○　事例収集の背景①(雇用と生計状況) ・現在「つどい」の委託運営業務で、業務責任者とフルタイムスタッフが生計を立てている。 ・3 年半前までは、八尾市内を中心に中間支援だけで生計を立てているのは、業務責任者のみだった。現在、フルタイムスタッフが携わり定着し、1 名人員拡大した。 ・今後、「つどい」の年間業務委託料は八尾市の財政状況や景気後退も含めて予算増額は難しいと考える。フルタイムスタッフが業務年数を積み重ねていくにあたり昇給も実施済。 ○　事例収集の背景②(権限移譲の状況) ・業務責任者の給与は、当時は過去最高の給与金額(総支給金額)でもあったため、2013 年 8 月～6 年 9 ヵ月に渡り昇給はなし。2020 年 4 月～1 年間は、消費税分増額に伴う予算増額により昇給したが、2021 年 4 月から八尾市全事業予算 1 割削減により業務委託料も給与も 1 割削減・減給。世代交代による権限移譲として、人件費も若年層のフルタイムスタッフに移譲し、2022 年 4 月にはプロポーザル提案の予算計画より 1 年前倒しでさらに減給を実施。若年層に人件費を移譲した(減給による勤務日数・勤務時間も減少・調整した)。 ○　事例収集の背景③(今後、人件費確保のための資金調達方法の必要性) ・世代交代に伴う役割の移譲により若年層のフルタイムスタッフに権限及び人件費を移譲し、学生スタッフに人件費を移譲して来た。権限移譲に伴い、つどいの業務は「業務責任者主体の運営」から「フルタイムスタッフ・学生スタッフ主体及び業務責任者主体」の運営に移行した。 ・若年層のフルタイムスタッフのライフスタイルの変化に伴う昇給資金の調達は、現在の業務委託料で賄うことが出来なくなる時が来る。現在の移譲では限界に近づき、他の調達方法を見出すことが必要になった。 ○　事例収集の目的 ・今後「つどい業務」に支障が起きないため、他の方法で資金調達を行う方法・考え方がないか事例の収集を行った(業務委託料の予算増額要望ではない方法を模索)。

・　NPO 法人として、収益の大半がひとつの事業から得られていることは、運営上・法人格の制度としても、あまり望まれていない。①会費・寄附等の収益、②補助金・助成金等の収益、③事業実施時に対価を得る事業収益。これら 3 本柱をバランスよく資金調達することが理想とされている。
・　これまで「つどい業務委託運営団体」である NPO 法人は「つどい」の業務委託料だけでなく、自主事業(事業収益)の話や会費・寄附等の収益の話や議論が幾度となく出て来た。仰る通りのご意見ではあるが、過去の経過として自主事業(事業収益)が尊くなり、対価を得ていない従来事業(つどい業務委託)が疎かになり粗末になった(官尊民卑・官民格差のような概念に近い)。事業はどちらも尊いが、このバランスが保てず、議論できず、見えない考えの違いになり分裂した部分がある(仕事は事業に関係なく全て尊い)。
・　少数精鋭でマンパワーが乏しい中、全ての事業にフルパワーで取組み、資金調達すると言うあまりにもハードルが高く求められすぎ、応えられなかった経過がある。

○　資金調達ではない現物支給の考え方

・　若年層のフルタイムスタッフが加わり、マンパワーの増強が一歩前進した。次の課題として若年層の昇給分をどこで資金調達するのかが新たな課題になり事例収集を行った。
・　NPO 法人で将来、不動産物件を取得するもしくは賃貸で物件を借りることで、今後、若年層スタッフの昇給が出来なくなった際に、住まいを無償提供する事で昇給分をカバーする事が出来ないか知りたく事例収集した。住まいの無償提供は、貸主が負担する家賃・共益費や光熱水費分の費用を給与(現金支給)で保障できない分を、現物支給(物品提供)を行う事で昇給分をカバーするという意味である。
・　NPO 法人として、賛助会員の増加目的を、若年層のスタッフに無償で住まいを提供する資金を賛助していただく事で、会員増加の目的が明確になる。ひとつの事業に収益が偏らず、違う方法で資金調達が出来るようになるために、事例収集として訪問したのが目的である。

○　明確化の必要性

・　休眠預金の活用の課題として、道のりが長く、テーマがマッチした内容が出ない限り応募が出来る年度と応募すら難しい年度もあることを、訪問時に学んだ。
・　物件を確保する際に、空家活用も出来ればと考える。
・　中間支援を行う人財を確保し、その人財が中間支援業務で生活が出来るようにするために、このやり方・考え方がモデルとして成り立った時に、校区まちづくり協議会といった中間支援機能がある組織もしくは中間支援組織にもこのモデルを参考に、中間支援を行う人財確保の寄与につながり、支援になればと考えている。課題点は、なぜ中間支援の人財が居ないと、どのような社会問題や地域課題が発生するのかを明確にする事。また中間支援の人財が地域社会に存在する事で、どのような公益が生み出されるのか。その可能性も含め整理を行う事。この論点をまとめ、休眠預金の活用や、皆様から共感を得られるようにまとめて行く意義があると考える。

(2)「つどい」の管理運営業務

①管理運営の時間帯等

○　月別開館日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期小計
開館日数	22	21	22	23	21	22	131

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期小計
開館日数	22	21	20	20	20	23	126

年間	257

②管理運営業務の内容

【ア】 登録団体の募集・登録・廃止及び登録団体との連絡に関わる業務

・　合計 274 団体

○　登録団体数の月別登録・廃止状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録団体数	265	266	270	271	271	271	272	272	272	273	273	274	―
登録	0	1	5	1	1	0	1	0	1	1	0	2	13
廃止	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	4

※　内 6 月の 3 団体、7 月の 1 団体は八尾市市民活動支援基金事業助成金への申請により登録。

・　ホームページ「つどい登録団体紹介」に掲載している各登録団体の写真掲載状況について、管理方法を Excel ファイルからデータベースに変更し、一括管理化を進めた(10 月)。

○　町会運営アプリ「結ネット」の試験導入の検討(11 月)

・　10 月に開催した「つどい井戸端会議」で高美町 5 丁目町会の岡村信一会長にスマホアプリ「結ネット」の紹介とアプリの活用による町会運営の変化について話題提供をいただいた。

・　役員の負担軽減、紙媒体から電子媒体への移行、アプリ費用、使いこなせる方と使いこなせない方のギャップをどのように埋めるか、既存の方法に新しい選択肢であるアプリの提供に関して質疑応答や意見交換を行った。

・　「結ネット」がグループ間での連絡手段・情報共有に長けている点、共有化を通じて当事者意識や一体感を持つなど意識変化への期待に可能性があることから、「つどい登録団体」(全団体)を対象に試験的に導入できないか検討することになった。また費用面は「結ネット」の普及を目的に代理店がボランティアに近い価格で提供することになったこともあり、試験導入を検討することになった。今後、「つどい」といった中間支援組織が導入することで、普及の支援に寄与できることも目的としている。

○　町会運営アプリ「結ネット」の試験導入の実施へ向けて(1 月)

- 町会運営アプリ「結ネット」は石川県野々市市連合町内会で 2 年間の実証実験を経ており、自治体・町会単位で導入事例があり、石川県野々市市市民活動センターでは登録団体を対象に導入している。このことから「つどい登録団体」を対象に結ネット試験導入の実施に向けて、試験導入の経緯、実施計画素案、機能要項案を作成した。
- 試験導入を 4 月から実施し、登録団体とのやり取りを通じて実験・フィードバック等を繰り返して行く予定。試験導入後、「つどい」が開設されて丸 20 年になる 2024(令和 6)年 10 月 1 日に本格導入を目指す。「つどい」といった中間支援組織が導入することで、情報伝達・情報共有・双方向のコミュニケーションにおけるデジタル媒体の活用と普及により、公益活動・社会貢献活動の支援に寄与できることを目的としている。
- 相談対応後(相談 No.2022-072)のマッチングにより、1 月 6 日に 3 つの校区まちづくり協議会が「結ネット学習会」を開催し、「つどい」も急遽参加し学習した。

○　町会運営アプリ「結ネット」の試験導入の実施へ向けて(2 月)

- 相談対応後(相談№2022-072)のマッチングにより 1 月 6 日に続けて 2 月 9 日に 2 つの校区まちづくり協議会が「結ネット学習会」を開催し、「つどい」も参加し学習した。

〇　町会運営アプリ「結ネット」の試験導入の実施へ向けて【導入断念】(3 月)

- 町会運営アプリ「結ネット」を「つどい登録団体」を対象に試験導入を検討し、委託元へ提案を行った。しかし、アプリの選定理由(LINE ではダメなのか)の検討を求められた。さらに業務委託料での執行に他の業者を選定するなど検討が必要という意見があった。また、登録団体から実費徴収を行うべきという意見が出た点と、現在の要綱規定ではコピー機利用と印刷機利用以外に実費徴収の規定がない現状である。これらから導入には賛同を得らえなかったため、つどい業務として導入することは難しい姿勢を委託元が示された。以上から、導入を断念した。
- 別途、つどい業務責任者がつどい業務ではなく任意団体を発足し導入に向けて行うことになった。

○　権限移譲の実施(つどい登録申請対応)(2 月)

- これまで、つどいへの登録申請はつどい業務責任者が面談し受付・対応してきた。
- フルタイムスタッフも雇用して丸 4 年が経過し、力をつけた。また、1 年以上のコロナ禍において執務室を1階と2階に分けたことで1階執務室の責任者としてフルタイム社員が自立した。この 1 年以上、フルタイムスタッフに育成・レクチャーを行うこともなくなった。
- 以上のことから、フルタイムスタッフにつどい登録申請の対応も業務として担ってもらうことになった。
- 2 月は 1 団体の登録申請の面談及び受付・対応を行った。

【イ】 メールボックスの利用団体の募集・受付・廃止及び貸出等の管理業務

年度	利用団体数	年度	利用団体数	年度	利用団体数	年度	利用団体数
2004 (H16)年度	10	2009 (H21)年度	20	2014 (H26)年度	38	2019 (R1)年度	52
2005 (H17)年度	13	2010 (H22)年度	43	2015 (H27)年度	44	2020 (R2)年度	52
2006 (H18)年度	14	2011 (H23)年度	17	2016 (H28)年度	47	2021 (R3)年度	42
2007 (H19)年度	16	2012 (H24)年度	38	2017 (H29)年度	52	2022 (R4)年度	13
2008 (H20)年度	17	2013 (H25)年度	44	2018 (H30)年度	47		

※　平成 16 年度　備考:10 月「つどい」が開設。
※　平成 24 年度　備考:登録団体情報を印字した各申請書類等の投函サービスを開始。

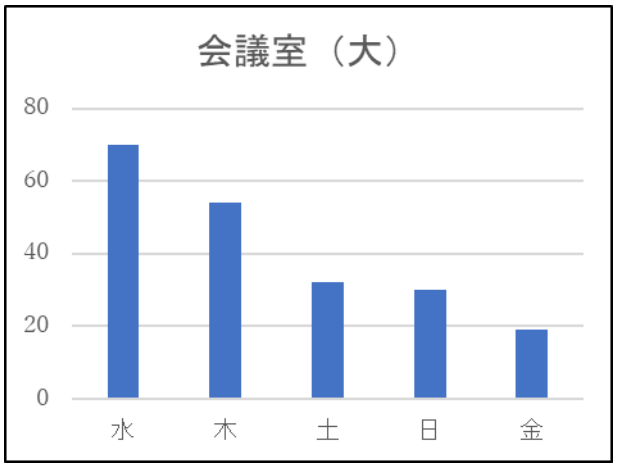
- これまでメールボックス利用登録(更新依頼)のお知らせを全つどい登録団体へ郵送していたが、今年度から部屋利用・設備利用等での来館時に窓口で更新のお知らせを行うやり方に変更した。(4 月)
- 「郵便受け」「情報交換(ノート等)」の利用目的に特化した団体のみが利用を継続されるため、利用団体数の減少が予想される。(4 月)
- メールボックス更新確認の実施(延べ 41 団体)。(8 月)
- これまでメールボックスに付随してコピー用紙を保管する引出も貸出提供をしてきた。近年、印刷機利用の減少により、引出の貸出内容を変更し、会議室利用時の資料保管としても貸出を開始。(9 月)

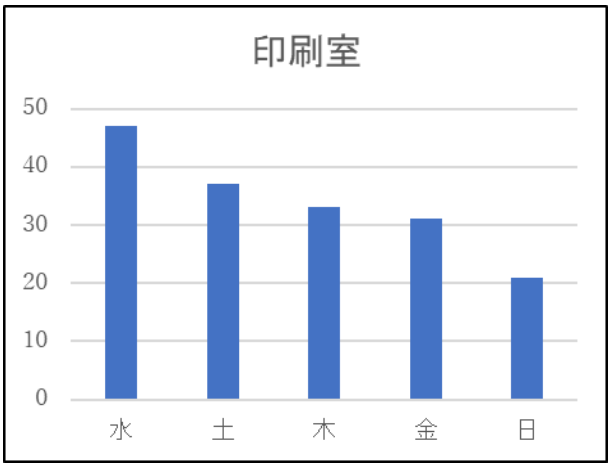
【ウ】　会議室及び備品(印刷機、コピー機)の貸出等の管理・保守業務

○　会議室・印刷室使用団体数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室（大）	2022年度	16	21	13	18	14	20	18	16	12	17	19	21	205
	2021年度	7	0	1	13	6	11	15	13	11	18	15	22	132
	2020年度	0	0	0	0	0	0	18	20	10	12	19	21	100
印刷室	2022年度	13	21	15	13	11	16	17	11	8	11	16	17	169
	2021年度	11	0	4	16	9	11	21	7	10	12	11	23	135
	2020年度	0	0	0	0	0	0	16	14	9	5	9	17	70

※　2017 年度から集計方法を変更：印刷室利用の集計は 1 時間以内の利用も全て集計(カウント)を行い、作業スペースの集計を廃止した。





会議室（大）

印刷室

○　印刷機利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	13	21	13	12	10	16	17	11	8	10	16	15	162
2021年度	11	0	4	15	9	9	18	7	10	11	11	21	126
2020年度	0	0	0	0	0	0	15	13	8	5	9	18	68

○　紙折り機利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	2	1	1	3	0	1	3	0	0	1	3	5	20
2021年度	4	0	0	3	2	0	7	1	1	2	0	4	24
2020年度	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	1	6

○　その他利用状況（裁断機・ラミネータ・コピー機・パソコン）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	11	12	6	2	7	9	10	6	3	3	5	5	79
2021年度	0	0	2	3	4	7	18	4	3	2	4	9	56
2020年度	0	0	0	0	0	0	5	9	6	4	3	8	35

印刷機

紙折り機

裁断機

【エ】　印刷機及びコピー機使用料の徴収・提出業務

・　印　刷　機：71,175 円
・　コ ピ ー 機：1,750 円

【オ】　各団体のチラシ、ポスター等掲示物の受付・掲示業務

←　１階館外配架スペース

１階外壁の館外掲示板　→

↑１階館内掲示・配架スペース

○　郵便物・登録団体のチラシ、ポスター等持ち込み件数
・　年間：646 件

○　館外配架物の配架部数
・　年間：2,161 部

○　館外配架物の配架が完了したチラシ、情報誌等
・　年間：180 種

【カ】　「つどい」の備品管理業務
○　パソコン設置・廃棄等(10 月、3 月)
・　委託元と打合せを実施(10/28)
・　委託元よりノートパソコン 1 台納品(ノートパソコン 1 台廃棄)(3 月)

【キ】　その他、「つどい」の管理運営のため必要な業務
○　来館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	221	291	234	224	212	250	218	211	153	229	230	283	2756
2021年度	221	101	115	221	145	208	261	185	203	201	192	326	2379
2020年度	0	0	0	0	0	0	309	258	248	185	238	324	1562

○　館内消毒作業の実施(4 月)
・　4 月 28 日(木)14 時～15 時にかけて来館を制限した上で、消毒作業を実施。
・　実施終了後、開館を再開した。

○　基盤システムバージョンアップ工事の内容確認(NTT コミュニケーション:Biz メール＆ウェブビジネス)(5 月)
・　「工事日の確認」及び「データ更新範囲の選択」を行った。(5/27)

○　「暴風警報発令時の開館について(お知らせ)」対応(9 月)
・　9 月 18 日(日)における台風 14 号の影響による警報発令時の対応について「つどいブログ」で情報を発信した。

○　Biz メール＆ウェブ更新対応(10 月)
・　スクリプト言語 PHP のバージョン変更を実施(10/29)

○　市民活動団体の活動記録資料の提供再開（3 月）
・　情報紙や記念誌等を八尾図書館へ地域郷土資料として試験的に提供した。5 年振りに再開する。

【特記事項】

【6. 組織体制】

○　人事

No.	月	収集内容
1	4 月	○　雇用通知書の取り交わし ・　つどいスタッフ(3 名)と今年度末まで雇用期間を更新した。 ○　中小企業退職金共済制度の申請 ・　常勤スタッフの福利厚生の充実を図り申請した。 ・　これまでの 3 カ年度の雇用期間(過去勤務期間 36 ヶ月分)も加算して掛け金を掛けることにした。
2	7 月	・　アルバイト契約内容の変更更新(1 名)
3	9 月	○　雇入通知書の取り交わし ・　つどいスタッフ(2 名)の就職(内定)が決まり、先月に引き続き、契約内容を更新。
4	10 月	○　アルバイト体験スタッフ ・　アルバイト希望の学生 2 名(男性：10 月 8 日・女性：10 月 28 日)を面談の上、有償ボランティアとして携わってもらう事になった。 ・　内部研修として「市民活動」について個別で実施(内 1 名)。 ○　雇入通知書の取り交わし ・　大阪府の最低賃金の変更により、つどいスタッフ(学生 2 名)の契約内容を更新。
5	11 月	○　アルバイト体験スタッフ ・　アルバイト希望 1 名(女性)に内部研修として「市民活動」について個別で実施。 ・　アルバイト希望 2 名(男性 1 名・女性 1 名)は、2023(令和 5)年 1 月に雇入通知書を取り交す予定。
6	1 月	○　雇入通知書の取り交し ・　アルバイト希望 2 名は、2023(令和 5)年 1 月に雇入通知書を取り交した。 ・　雇入通知書の取り交しにより、徴収事務委託証票の作成・貸与を行った。 ・　雇用契約後も、「市民活動」「市民主体のまちづくり」「中間支援」について個別で内部研修を実施。
7	2 月	・　雇入通知書の再取交し(2 名) ・　アルバイトスタッフが、就職準備と大学卒業により退職（2 名）。
8	3 月	○　アルバイト体験スタッフ ・　アルバイト希望 1 名（女性：3 月 8 日及び 12 日）を面談の上、有償ボランティアとして携わってもらう事になった。

○　インターンシップ対応（NPO 法人ドットジェイピー）

No.	月	収集内容
1	7 月	・　夏のインターンシップ(NPO 法人ドットジェイピー)の二次面接及び受入承諾(7/1・7/6)
2	8 月	・　NPO 法人ドットジェイピーの「2022 年度夏のソーシャルインターンシップ」で 2 名(女性)を受入れ開始。 ・　「市民活動」「市民主体のまちづくり」「中間支援」について、個別にマンツーマン対応でレクチャーを実施。
3	9 月	・　2 ヶ月目(最終月)として「つどい登録団体の行事開催の現地取材とブログ記事投稿」「FM ちゃおのラジオ収録参加」「つどい学習座談会の参加」「公務員とお話会」を実施し、つどい業務体験や学習及び他の活動主体のヒアリング等、様々なカリキュラムを提供した。
4	11 月	・　来年 2 月～3 月の対応時について貴法人の学生スタッフから顔合せ兼ヒアリングに対応した。
5	1 月	・　2 月～3 月のインターンシップの希望者がなかった(インターンシップの実施はない)。

【7. 業務報告及び評価（マネジメントサイクル）】

○ 昨年度の年間業務実施報告書を作成(4 月)

- 昨年度 3 月分の月報を作成
- 「つどい」を介して連携につながった相談対応等の抽出及び集計を実施した。

○ 仕様書の改定に伴った業務報告及び評価(3 月)

- 今期の委託契約期間（令和 3 年度～令和 6 年度）から仕様書が改定された。
- これまで使用していた「業務報告及び評価」の方法は「目標別 PDCA サイクル」であったが、仕様書に定めていた目標が撤廃されたため、「対象者別における支援の PDCA サイクル」に改定する。
- 校区まちづくり協議会における活動支援については、仕様書 2.における 3 目（対話の場の創出支援・多様な主体の連携支援・活動効果の検証支援）に分けて業務報告及び評価をまとめていく。

(3) 行政評価・運営評価に関する必要資料作成・説明協力(5 月)

○ 委託元との「つどい業務」に関する話合い・協議(5/18)

- 今年度の「具体的な取り組み」について話合い・協議を行った。
- 個人ボランティア（人材バンク）

○ 「つどい」を介して連携につながった相談対応等(6 月)

- 連携実績の件数は当初 13 件であったが、委託元からの提案を受けて検討を行い協議した結果、5 件の追加と 1 件の取り下げを行い、連携実績の件数を 17 件に改訂した。
- 上記に伴い、年間報告書の修正も実施した。

○ 委託元との「つどい業務」に関する話合い・協議(11 月・2 月・3 月)

- 今年度下半期及び来年度の「具体的な取り組み」について話合い・協議を行った（11 月・2 月）。
- 委託元より「八尾市協働のまちづくり人材バンク（仮称）登録について（案）」について話合いに参加（11 月：1 回、2 月：1 回、3 月：2 回）。

○ 校区まちづくり協議会の構成状況及び構成団体に関係する行政機関及び各事業予算額(11 月)

- 2019(令和元)年度に【政策提案書：校区まちづくり協議会の運営を担う構成状況から見る「地域協働に関する予算集約」について】で取りまとめた【別表 1：「校区まちづくり協議会」の構成状況【第 1 版：参考(未分類含む)】】及び【別表 2：「校区まちづくり協議会」構成団体に関係する行政機関及び各事業予算額【第 1 版：参考】】のデータ提供を求められたため、作成した Excel ファイルを提供した。

【12. 新型コロナウイルス感染症対策について】

○ トイレの衛生改善(8 月)

- 便座除菌クリーナーの設置

【13. 仕様書に定めのない協議事項】

- 経済産業省・大阪府による節電協力依頼により 9 月 30 日まで館内の照明等の節電を実施した。(9 月)

【参考資料・参考閲覧】

- 「つどい登録団体」→つどいホームページ　「つどい登録団体紹介」
- 「つどいの情報発信」→「つどいホームページ」　及び　「つどいブログ」　及び「つどい Face book」及び「つどいツイッター」及び「つどい　Instagram」